令和２年度

事　業　年　報

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

日本赤十字社 鹿児島県支部
Japanese Red Cross Society

赤 十 字 基 本 原 則

（1965 年ウィーンで開催された第 20 回国際会議議決）

人　道　赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公　平　赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位、又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取扱う。

中　立　すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

独　立　赤十字は独立である。各国赤十字は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律には従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉　仕　赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単　一　いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性　赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

ご あ い さ つ

皆様には、日頃から赤十字事業にご理解をいただき、支部事業の推進にお力添えを賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

日本赤十字社は、１９２の国や地域に広がる国際赤十字の一員として、世界中で絶え間なく起こる災害や紛争の被災者への救援活動、疾病や感染症などの健康問題に苦しむ人々のための保健衛生事業等を、各国の赤十字社と連携して展開しています。

さて、日本国内におきましては、昨年、熊本地方を中心に発生した令和２年７月豪雨などにより、多くの方々が被災され、尊い人命が失われました。

日本赤十字社では、全国の支部等の連携のもと、救援物資の輸送・配分、医療救護班やこころのケア班の派遣とともに、義援金募集を行いました。

また、昨年から世界各地で新型コロナウイルス感染症が蔓延していますが、日本赤十字社では、新型コロナウイルス感染症発生当初から全国の赤十字病院において感染者の受入れや治療、感染拡大防止のための活動に取り組んでいるほか、ウイルスがもたらす不安・偏見・差別を解消するための啓発にも努めています。

一方、鹿児島県内においては、昨年７月の大雨により、県内各地で土砂災害や住家被害などの被害が発生したため、救援物資（毛布・タオルケット・ブルーシート等）の輸送・配分を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対応として県広域医療調整本部や宿泊療養施設等に職員を派遣しております。

このように、いつどこで大きな災害が発生するかわからない昨今、県支部では、迅速かつ機動的に対応できるよう災害救護体制の強化に努め、併せて県民の皆様に対する「防災・減災教育」の活動を更に充実させていきたいと考えております。

次に、病院事業については、公的医療機関として地域医療の充実に貢献するため、災害時の医療救護、離島・へき地医療への取組はもとより、各診療科領域において特色ある専門的かつ高度な医療の提供に取り組み、その使命と役割を果たしてきました。

血液事業については、採血・供給業務を受け持つ地域血液センターとして、少子高齢社会に対応した献血者の安定的な確保と、安全な輸血用血液の安定供給に努めました。

社会福祉事業については、全室個室のユニット型特別養護老人ホームとして、質の高いサービスを提供するとともに、入居者の安全対策・環境整備や地域との連携に努めました。

これらの事業をはじめ、令和２年度の各種支部事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により各種行事やイベントを中止せざるを得ないこともありましたが、実施方法の見直しや感染防止対策の徹底により概ね展開することができました。これもひとえに、皆様方の赤十字事業へのご理解とご支援の賜物と心からお礼申し上げます。

なお、赤十字の活動を支える財政的基盤である社資の募集は、地区・分区等におきまして町内会・自治会、赤十字奉仕団、赤十字有功会等のご協力を得ながら行っておりますが、年々厳しい環境の中、さらに赤十字の活動をご理解いただけるよう積極的な啓発と広報に努めるとともに、県民の皆様の期待に応えられるような活動の充実を図ってまいりたいと考えております。

ここに令和２年度の事業実施状況を報告いたしますので、ご高覧のうえ、今後とも県民の皆様のなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和３年６月

日本赤十字社鹿児島県支部
支部長　塩田　康一

目　　次

１　災害救護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
（１）　常備救護班の設置
（２）　災害救護活動
（３）　災害救護訓練等の実施
（４）　救援物資の備蓄・配分
（５）　救護資機材の整備
（６）　赤十字救護連絡所の医薬品等補充
（７）　救急用担架の配備
（８）　洋上での遭難者に対する救援
（９）　臨時救護
(10)　非常時の炊き出し訓練の実施
(11)　赤十字防災セミナーの実施
(12)　死亡弔慰金の支給
(13)　義援金の取扱い状況

２　看護師の養成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

３　救急法等の講習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
（１）　救急法
（２）　水上安全法
（３）　健康生活支援講習
（４）　幼児安全法
（５）　新型コロナウイルス感染症に関連する差別・偏見をなくす活動
（６）　救急法等指導員の在籍状況

４　赤十字奉仕団の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
（１）　赤十字奉仕団組織図
（２）　赤十字奉仕団及び奉仕団員数
（３）　地域赤十字奉仕団結成状況
（４）　総会及び研修会等開催状況
（５）　地域赤十字奉仕団研修会開催状況
（６）　地域高齢者生活支援事業の実施
（７）　赤十字奉仕団登録一覧表

５　青少年赤十字の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
（１）　校種別加盟状況
（２）　加盟校の推移
（３）　会議等の参加及び開催
（４）　研修活動
（５）　高校協議会の活動
（６）　機関紙の発行

（７） その他の青少年赤十字活動
（８） 校種別加盟校名簿

６　国際活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
（１） 「ＮＨＫ海外たすけあい」寄附金募集
（２） 海外救援金の取扱い状況
（３） その他

７　広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
（１） ５月の会員増強運動月間広報
（２） 各種イベント等の活用による広報
（３） 見学誘致・出前講座による広報
（４） 刊行物による広報
（５） インターネットによる広報

８　赤十字大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
（１） 全国赤十字大会
（２） 九州八県赤十字大会
（３） 鹿児島県赤十字有功会総会

９　会員増強運動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
（１） 令和２年度社資募集状況及び過去５カ年間の推移
（２） 令和２年度地区・分区別社資納入状況一覧表（対社資目標額比較）
（３） 令和２年度地区・分区別社資納入状況一覧表（対前年度比較）
（４） 令和２年度地区・分区別会員募集実績前年対比一覧表
（５） 令和２年度赤十字会員増強運動功労表彰
（６） 過去５カ年間の種別会員数の推移
（７） 令和２年度一般社資金額別内訳一覧表
（８） 令和２年度法人社資金額別内訳一覧表
（９） 日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿

１０　医療事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
（１） 一般医療
（２） 医療救護活動
（３） へき地医療
（４） 保健衛生事業
（５） 相談援助・地域連携

１１　血液事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
（１） 採血・供給実績
（２） 献血推進
（３） 献血受入・献血予約の推進
（４） 供給体制

（５） 医薬情報活動
（６） 鹿児島県合同輸血療法委員会への協力
（７） 骨髄バンク事業
（８） 献血功労者表彰

１２　社会福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
（１） 指定介護老人福祉施設事業
（２） 短期入所生活介護事業
（３） 入居者へ質の高いサービスの提供
（４） 入居者の安全対策・環境整備
（５） ボランティアの受入れと地域との連携
（６） 実習生の受入れ
（７） 地域貢献活動について
（８） 広報活動について
（９） その他
（参考）令和２年度における入居者の状況

１３　評議員会及び監査等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７２
（１） 支部評議員会
（２） 業務監査
（３） 地区・分区関係各種会議等

１４　決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７４
（１） 令和２年度一般会計歳入歳出決算書
（２） 令和２年度医療施設特別会計歳入歳出決算書
（３） 令和２年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７８

○　本社及び支部組織図等
○　日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿
○　日本赤十字社鹿児島県支部評議員名簿
○　日本赤十字社現勢
○　支部の現勢
○　支部の沿革

１　災　　害　　救　　護

災害救護は、日本赤十字社の行う最も重要な事業の一つであり、当県支部では救護班を常備するとともに、災害救護活動の速やかな実施や各種救護訓練、災害救護資機材等の整備に努めた。

（１）常備救護班の設置

日本赤十字社救護規則に基づいて、８常備救護班を設置し、災害救護活動に備えた。

◎常備救護班の編成状況

	医　師	看護師長	看護師	主　事	計
１個班の編成	1	1	2	2	6 人
常備要員数	8	8	16	16	48 人

（２）災害救護活動

ア　令和２年７月豪雨災害

７月３日から３１日にかけて日本付近に停滞した前線の影響で、九州でも記録的な豪雨となり、人的・住家被害が発生した。鹿児島県支部では県内の各地区・分区からの情報を受け、救援物資を輸送・配分（補充を含む）した。また、被害の大きかった熊本県へ支部災害対策本部の支援要員を派遣した。

◎救援物資の輸送・補充状況

地区・分区名	毛布 （枚）	緊急セット （セット）	タオルケット （枚）	ブルーシート （枚）
鹿児島市地区	20	12	10	20
鹿屋市地区	230	133	230	130
枕崎市地区	10	0	10	50
阿久根市地区	10	6	10	5
指宿市地区	10	6	20	5
西之表市地区	20	6	20	5
薩摩川内市地区	200	108	220	115
いちき串木野市地区	20	12	20	10
志布志市地区	60	36	60	35
奄美市地区	0	0	0	100
計	580	319	600	475

（７月１日～１１月３０日まで）



救援物資の輸送準備



熊本県支部に派遣した支援要員

イ　新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応

県内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、鹿児島県からの要請を受けて、感染者の宿泊療養施設及び県庁舎内に設置された広域医療調整本部へ職員を派遣した。

（３）災害救護訓練等の実施

ア　日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練

「日向灘沖約５㎞付近を震源とするＭ６．０の地震が発生し、市街地では家屋の倒壊や火災が多数発生、また海岸部では津波による被害も発生している。」との想定で１１月２９日（日）～３０日（月）に日赤宮崎県支部の主催で訓練が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

イ　鹿児島県支部災害対策本部立上訓練

鹿児島県北西部直下（出水断層帯）を震源とするＭ７．０の地震が発生し、県内各地で多数の被害が発生しているとの想定で、３月４日（木）に日赤鹿児島県支部事務局内において災害初動時の対応能力の向上を目的とした訓練を実施した。

ウ　各機関が実施する防災訓練への参加

(ｱ) 鹿児島県総合防災訓練

５月１７日（日）に鹿児島県主催による訓練が奄美市で予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

(ｲ) 大量軽石火山灰対応計画に基づく住民避難訓練（図上訓練）

桜島の火山活動が活発化し、噴火警戒レベルが引き上げられ、桜島住民の避難が始まったとの想定で、８月４日（火）に鹿児島市主催により実施された訓練に参加した。

・参加者　　日赤鹿児島県支部　　１人

(ｳ) 多数傷病者事故対応訓練

９月９日（水）に鹿児島市消防局主催で訓練が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

(ｴ) 桜島火山爆発総合防災訓練(図上訓練)

「桜島の大規模爆発に対して、住民避難等の各種の災害応急対策が迅速・的確に行われるよう、関係機関の認識の共有、各機関の役割・能力の確認及び相互の連携強化など災害対応能力の向上を図る。」ことを目的に、１０月６日（火）に鹿児島県主催により実施された訓練に参加した。

・参加者　　日赤鹿児島県支部　　２人

(ｵ) 鹿児島空港航空機事故対処総合訓練（情報伝達訓練）

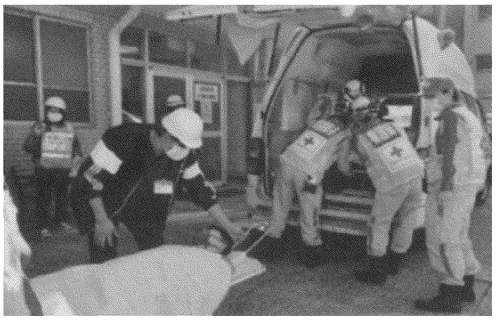
例年鹿児島空港滑走路内での合同救出・救護訓練等が実施されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により訓練規模が縮小され、１０月２０日（火）に実施された訓練に参加した。

・参加者　　日赤鹿児島県支部　　１人

(ｶ) 第５１回桜島火山爆発総合防災訓練（住民避難訓練）

桜島の火山活動が活発化し、噴火警戒レベルが引き上げられ、桜島住民の避難が始まったとの想定で、１１月１４日（土）に鹿児島市主催により実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	３人
	鹿児島赤十字病院	７人
	鹿児島県赤十字血液センター	１人
	計	１１人





避難促進施設の避難支援を行う救護班

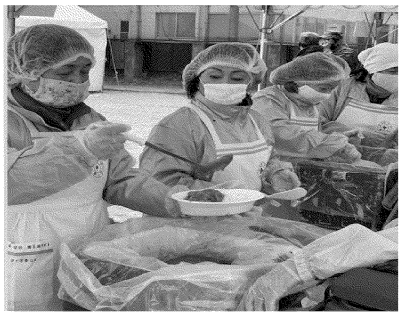
(ｷ) 桜島火山爆発総合防災訓練（避難所運営・展示訓練）

桜島の火山活動が活発化し、噴火警戒レベルが引き上げられ、桜島住民の避難が始まったとの想定で、１月９日（土）に鹿児島市主催により実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	４人
	赤十字アマチュア無線奉仕団	３人
	鹿児島中央赤十字奉仕団	２０人
	計	２７人



鹿児島市長へ救援物資の説明を行う職員



炊き出しを実施する奉仕団

(ｸ) 鹿児島県・霧島市国民保護共同図上訓練

「霧島国際音楽ホールにて爆弾テロが発生し、観客やスタッフを中心に多数の死傷者が発生した。」との想定で、１月２６日（火）に鹿児島県及び霧島市主催により実施された訓練に参加した。

・参加者　　日赤鹿児島県支部　　１人

(ｹ) 鹿児島県原子力防災訓練に係る避難退域時検査実施訓練

２月６日（土）に鹿児島県主催での訓練が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

エ　救護員研修

(ｱ) 鹿児島県支部救護員基礎研修

自然災害のみならず、大規模交通災害やテロ災害など災害救護を取り巻く環境が、多岐にわたってきている。このため、災害時の役割を認識し、新たな救護体制の再構築をするとともに、救護員の量的確保並びに質的向上を図ることを目的に、２日間のカリキュラムで、鹿児島県支部管内職員を対象とした研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

(ｲ) 救護員フォローアップ研修

救護員基礎研修の受講から３年が経過した既受講者を対象に、近年の災害救護活動や日赤の救護体制についての理解を深めることを目的としてフォローアップ研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

(ｳ) こころのケア研修会

災害発生時に、従来の救護活動に加えて被災者に対するこころのケアの実施方法と、救護員自身のこころのケアに関する対処方法を習得することを目的とした研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

(ｴ) 全国赤十字救護班研修会

災害の超急性期医療を含めた日赤救護班の強化と技術の向上を目的に、日本赤十字社本社の主催で年３回の研修が計画されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

(ｵ) 日赤災害医療コーディネート研修会

日本赤十字社災害医療コーディネートチームとして、災害対策本部の在り方、本部運営組織、資機材・レイアウト、及び本部における業務について理解を深めることを目的に、日本赤十字社本社の主催で年３回の研修が計画されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

(ｶ) 日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会

救護班要員等が、放射線環境下での救護活動に安全かつ安心して従事できるよう放射線や原子力災害医療体制等にかかる基本的知識及び放射線防護資機材の使用方法を習得することを目的として、日赤本社との共催で研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

（４）救援物資の備蓄・配分

災害発生時に速やかに被災者へ救援物資を配分できるよう、支部倉庫に加え県内３６の地区・分区等に常備地区を設け、迅速な配分に備えている。

ア　救援物資の備蓄状況　　令和３年３月３１日現在

品名／備蓄先	毛布（枚）	緊急セット（ｾｯﾄ）	タオルケット（枚）	見舞品セット（ｾｯﾄ）※	ブルーシート（枚）
支部倉庫	1,963	689	2,199	0	622
３６常備地区	1,997	958	1,265	543	1,163
計	3,960	1,647	3,464	543	1,785

※「見舞品セット」は、製作を中止し補充無し。

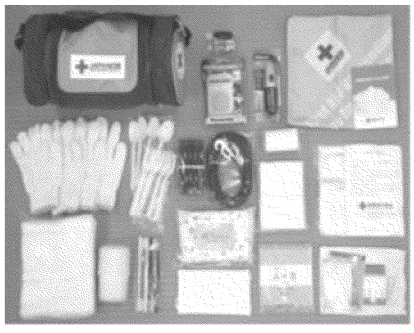
イ　救援物資配分基準

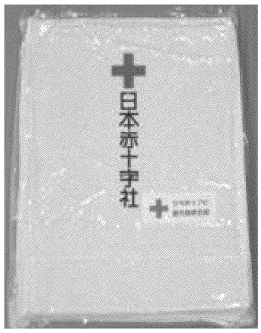
品名＼災害区分	全焼・半焼・全壊・半壊・流失・床上浸水	
毛布	被災者１人につき	１　枚
緊急セット（タオル･携帯ラジオ・懐中電灯・風呂敷等）	被災世帯１世帯につき	１セット
タオルケット	被災者１人につき	１　枚
ブルーシート	被災世帯１世帯につき	１　枚

（注）・世帯標準構成員は４人を想定。
・死亡者は世帯構成員に加えない。
・この基準は非住家には適用しない。

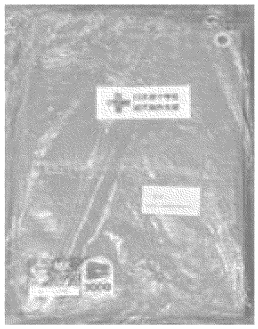


毛　　布


緊急セット



タオルケット


ブルーシート

ウ　救援物資常備地区及び配分区域　　令和３年３月３１日現在

常備地区	配分区域	常備地区	配分区域
鹿児島市(市)	鹿児島市	南九州市(社)	南九州市
鹿屋市(社)	鹿屋市	伊佐市(社)	伊佐市
枕崎市(社)	枕崎市	姶良市(社)	【加治木町、姶良町、蒲生町】
阿久根市(社)	阿久根市、長島町	さつま町(社)	さつま町
出水市(社)	出水市	湧水町(社)	湧水町
指宿市(社)	指宿市	大隅(地)	東串良町、錦江町 南大隅町、肝付町、大崎町
西之表市(社)	西之表市	熊毛(支)	中種子町、南種子町
垂水市(社)	垂水市	大島(支)	大和村、宇検村、龍郷町
薩摩川内市(社)	薩摩川内市【川内市、樋脇町、東郷町、祁答院町、入来町】	瀬戸内町(社)	瀬戸内町
薩摩川内市 上甑町(社)	薩摩川内市上甑町	喜界町(社)	喜界町
薩摩川内市 下甑町(社)	薩摩川内市下甑町	徳之島町(社)	徳之島町
日置市(社)	日置市	天城町(社)	天城町
曽於市(社)	曽於市	伊仙町(社)	伊仙町
霧島市(社) 【国分市】	霧島市Ⅰ 【国分市、隼人町、福山町、溝辺町】	和泊町(社)	和泊町
霧島市(社) 【牧園町】	霧島市Ⅱ 【牧園町、横川町、霧島町】	知名町(社)	知名町
いちき串木野市 (社)	いちき串木野市	与論町(社)	与論町
南さつま市(社)	南さつま市	屋久島事務所 (支)	屋久島町
志布志市(社)	【志布志町、松山町、有明町】	支部直送	三島村
奄美市(社)	奄美市		十島村

※【　】内は旧市町村名。
（社）社会福祉協議会・（市）市役所・（地）地域振興局・（支）支庁

エ　支部及び常備地区における救援物資の備蓄状況

令和３年３月３１日現在

	本社毛布					本社緊急セット					支部見舞品セット					(支部・本社)タオルケット					支部ブルーシート				
	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数
支　部	1,714	1,059	59	751	1,963	343	760	40	374	689	10	48	48	10	0	1,945	1,065	60	751	2,199	1,144	4	4	522	622

※配分分置の数字は、支部から直接、被災者へ配分したものと、常備地区への分置の合計。

常備地区名	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数
鹿児島市	76	20	2	17	77	50	12		7	55	34			2	32	84	10		15	79	43	20		5	58
鹿屋市	40	260		267	33	13	157		147	23	3			2	1	14	290		267	37	19	150		142	27
枕崎市	10	10			20	17			3	14	10	5			15	13	10		3	20	11	50		19	42
阿久根市	13	10		1	22	9	6		3	12	6			1	5	23	10		6	27	16	5		5	16
出水市	73			8	65	35			5	30	41			5	36	27			8	19	26			5	21
指宿市	26	10		8	28	15	6		4	17	5			1	4	17	20		8	29	16	5		4	17
西之表市	4	40		3	41	5	6	1	1	9	6				6	4	40		3	41	7	20		1	26
垂水市	43			2	41	32			2	30	22			2	20	20			2	18	23			2	21
薩摩川内市	39	180		88	131	18	90		47	61	15			2	13	35	181		102	114	21	110		47	84
薩摩川内市(上甑)	39	20	39		20	37	6	26	1	16	38		38		0	37	19	37		19	39			5	34
薩摩川内市(下甑)	25			19	6	16	12		11	17	22			11	11	20	20		19	21	30	5		12	23
日置市	23	10	3	5	25	27		2	3	22	10		1		9	26	10	3	5	28	26			3	23
曽於市	62			7	55	52			4	48	32			3	29	61			7	54	42			4	38
霧島市(国分)	37	10		14	33	31	12		6	37	22			4	18	66			14	52	47			6	41
霧島市(牧園)	12	10		5	17	9	6		3	12	6			1	5	17	10		5	22	9	5		2	12
いちき串木野市	17	20		12	25	20	12		6	26	19			6	13	19	20		12	27	22	10		7	25
南さつま市	86			9	77	53			5	48	53			5	48	46			9	37	56			7	49
志布志市	21	80	3	75	23	17	42	8	36	15	14		2	12	0	34	80	19	76	19	22	35	3	39	15
奄美市	62				62	72			9	63	50			9	41	139			12	127	43	100		9	134
南九州市	10			1	9	6			1	5	9			1	8	14			1	13	10			1	9
伊佐市	41			14	27	49			5	44	44			5	39	41			14	27	43			4	39
さつま町	12			2	10	7			1	6	7			1	6	10		1	2	7	9			1	8
湧水町	3	10		3	10	6			2	4	1			1	0	2			2	0	4			2	2
姶良市	62			7	55	12			4	8	2				2	59			7	52	25			4	21
大隅地区	99	20		21	98	79			13	66	78			13	65	74	20		21	73	75			10	65
熊毛地区	104	20	12	3	109	33	6	3	2	34	32	5	7	2	28	33	10		2	41	28	5	1	2	30
大島地区	572			7	565	60			4	56	37			1	36	83			7	76	107			4	103
瀬戸内町	52			9	43	22			6	16	0				0	25			9	16	22			6	16
喜界町	19			2	17	11			1	10	0				0	16			2	14	12			1	11
徳之島町	58			5	53	30			4	26	0				0	38			5	33	33			4	29
天城町	46				46	36				36	4				4	34				34	32				32
伊仙町	19			7	12	13			2	11	0				0	14			4	10	25			2	23
和泊町	19			1	18	20			1	19	8			1	7	21			1	20	18			1	17
知名町	32				32	18				18	15				15	9				9	17				17
与論町	27				27	26				26	10				10	15				15	20				20
屋久島事務所	67			2	65	20			2	18	19			2	17	37			2	35	18			3	15
常備地区計	1,950	730	59	624	1,997	976	373	40	351	958	674	10	48	93	543	1,227	750	60	652	1,265	1,016	520	4	369	1,163

※返却の数字は、破損等による支部への返却数であり、支部の補充戻入に反映される。
※常備地区間の補充も受入・配分数に計上している。

（５）救護資機材の整備

災害発生時に円滑な救護活動が行えるよう、新たに次の救護資機材を整備・更新した。

ア　県支部における救護資機材の整備

(ｱ) 新スプリアス規格に対応するため業務用無線基地局の工事と機器の更新を行った。

・業務無線基地局の工事と機器更新　　２局

・業務用無線機（車載型）の更新　　３台

(ｲ) 災害対策本部や救護所等の情報管理用の資材を整備した。

・移動式ホワイトボード　　２枚

イ　地区・分区における救護資機材の整備

(ｱ) 救援物資輸送などの災害救援活動及び日常の情報収集活動等に不可欠な救援車を整備するため、２分区にそれぞれ６０万円の補助金を交付した。

（交付先）

地区・分区名	交付額（円）
日置市地区伊集院分区	600,000
徳之島町分区	600,000
計	1,200,000

(ｲ) 救援物資の保管倉庫を１常備地区に設置した。

（設置先）薩摩川内市地区（上甑分区）

ウ 支部における救護資機材の整備状況　　令和３年３月３１日現在

救護資機材の名称	整備状況	救護資機材の名称	整備状況
超短波無線電話 全県移動システム	1 式	浄水機	1
無線装備（150MHｚ帯）	基地局(固定局)6 移動局 57	発電機	7
無線装備（400MHｚ帯）	基地局 1 移動局 23	投光機	8
無線装置（二重免許）	携帯基地局 6 携帯局 2	炊き出し用釜セット	6
携帯電話	8	医療セット	3
衛星電話	可搬型 2 車載型 1	携帯型医療セット	1
通信機器（パソコン）	1	マジックギブス	3
通信機器（ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ）	1	アンビューバッグ	3
トランシーバー	10	血圧計	8
カーナビゲーション	9	点滴台	12
救急車	支部 1 病院 1	寝袋	30
災害救援車	3	寝袋用マット	10
災害連絡車	4	折畳式リヤカー	4
通信指令車	1	折畳式自転車	2
患者用エアーテント	1	医療セット置き台	2
診療用エアーテント	1	輸液ポンプ	10
フレーム式拡張テント	3	簡易型心電図モニター	1
災害用テント	3	携帯型除細動器	1
担架	37	ポータブル人工呼吸器	1
担架架台	10	GPS 機能付車載無線機	1

エ　地区・分区における救護資機材整備状況

令和3年3月31日現在

市町村	旧市町村	自動車		天幕		プレハブ(物資)倉庫〔大〕		炊出し用釜セット		災害物資保管庫〔小〕		サーチライト			
												自動車用		公民館用	
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度
鹿児島市	鹿児島市	1	H20	5	51･54 56・60･H5							1	H1	44	H2
	谷山地域			2	52･63									16	H2
	吉田町			2	56･H4									5	H2
	桜島町			3	51･62･H13			1	H12	1	H2	1	H１	3	H2
	喜入町									1	H2			7	H2
	松元町														
	郡山町			1	H１									6	H2
鹿屋市	鹿屋市	1	H22	2	61･H5									30	H2
	輝北町			2	56・H4			1	H13	1	62	1	H１	6	H4
	串良町			2	51・62			1	H12	1	62	1	H3	7	H4
	吾平町			2	H4・H13					1	63	1	H1	5	H4
枕崎市		1	R1	1	H13	1	58	1	H13						
阿久根市		1	H19					1	H13						
出水市	出水市	1	H28	1	H13			1	H12			1	H1	2	H2
	野田町							1	H16						
	高尾野町							1	H13			1	H3	3	H3
指宿市	指宿市	1	H16			1	H26							1	H2
	山川町	1	H30					1	H15	1	63			1	H2
	開聞町	1	H15							1	63			1	H2
西之表市		1	H15					1	H13	1	H2	1	H1		
垂水市				1	H13			1	H14	1	H2			6	H2
薩摩川内市	川内市			3	51･61･H13	1	H5	1	H15			1	H1	20	H2
	樋脇町			2	56･H4									6	H3
	入来町	1	H19	2	56･H2			1	H2	1	H12	1	H1	9	H3
	東郷町	1	H1	2	56･H5			1	H15	1	63	1	H1	6	H3
	祁答院町	1	H23	2	59･H5			1	H15	1	62			6	H3
	里村	1	H11	2	55･H3					1	63			6	H3
	上甑村	2	H14・H22	1	H3	1	R2	1	H16					8	H3
	下甑村	1	H29	2	52･H1			1	H14	1	H11			2	H3
	鹿島村	H29.4下甑と合併								1	63				
日置市	東市来町	1	H28	2	54･H1			1	H15	1	63			8	H3
	伊集院町	1	R2	3	53･H1			1	H13	1	H10			5	H3
	日吉町	1	H26					1	H16					7	H3
	吹上町	1	H25					1	H12	1	H2				
曽於市	大隅町	1	H24	2	H1･H9			1	H13	1	63	1	H1	8	H4
	財部町	1	H14	2	55･H2					1	62			5	H4
	末吉町	1	H28	1	H1			1	H14	1	63	1	H1	14	H4
霧島市	国分市	1	H23					1	H16						
	溝辺町			2	54･H2					1	H2				
	横川町			1	H4			1	H16						
	牧園町			2	H2･H13	1	H7	1	H12	1	H1				
	霧島町							1	H13	1	63				
	隼人町			1	54			1	H16	1	H2				
	福山町	1	H16	1	H4					1	63				
いちき串木野市	串木野市			2	61･H5			1	H14	1	H2				
	市来町	1	H10	2	56･H4			1	H15	1	H11				
南さつま市	加世田市			1	H5	1	H24	1	H12	1	H2			1	H2
	笠沙町			1	H4			1	H14	1	62	1	H1	5	H2
	大浦町			1	H1			1	H14	1	62	1	H3	1	H2
	坊津町			2	56･H5			1	H15	1	62				
	金峰町							1	H13						

エ　地区・分区における救護資機材整備状況

令和3年3月31日現在

市町村	旧市町村	自動車		天幕		プレハブ(物資)倉庫〔大〕		炊出し用釜セット		災害物資保管庫〔小〕		サーチライト			
												自動車用		公民館用	
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度
志布志市	松山町			1	H5			1	H13	1	H2			4	H4
	志布志町	1	H18					1	H15	1	62			3	H4
	有明町	1	H25					1	H12	1	62			1	H4
奄美市	名瀬市			1	63	1	H25	1	H15						
	住用村									1	H1				
	笠利町			2	54･H2			1	H16	1	H1				
南九州市	頴娃町	1	H19	2	53･H1			1	H21	1	62			7	H2
	知覧町	1	H12	2	54･H2			1	H12	1	H25	1	H3	8	H2
	川辺町	1	H12	2	53･H1	1	H12			1	62			8	H2
伊佐市	大口市	1	H18	3	51･62･H13	1	60	1	H15	1	H2	1	H1	19	H2
	菱刈町	1	H30	2	55･H2	1	H29			1	H2	1	H3	6	H4
姶良市	加治木町			2	54･H1			1	H16	1	H2				
	姶良町	1	H16	2	53･H1			1	H18	1	63				
	蒲生町	1	H18	1	H2			1	H13	1	63				
三島村		1	H3	2	56･H5							1	H3	5	H2
十島村				2	56･H5									8	H2
さつま町	宮之城町	1	H15	1	H5	1	H7								
	鶴田町	1	H12	2	53･H1			1	H14	1	63				
	薩摩町	1	H11	1	H4	1	H10	1	H13						
長島町	東町	1	H1	2	54･61					1	61	1	H3	11	H3
	長島町	1	H24	2	H1･H13			1	H12	1	61	1	H1	5	H3
湧水町	栗野町	2	H13・H22	2	55･H3	1	H10	1	H14	1	63				
	吉松町			1	H4			1	H14	1	63	1	H1		
大崎町		1	H16	2	55･H2			1	H14	1	62	1	H1	1	H4
東串良町				2	55･H2					1	62	1	H1	3	H4
錦江町	大根占町	1	H14	2	63･H13			1	H16	1	62			9	H4
	田代町			2	56･H5			1	H15	1	61	1	H1	4	H4
南大隅町	根占町	1	H12	2	55･H3			1	H14	1	61			17	H4
	佐多町			2	56･H5			1	H13	1	61				
肝付町	内之浦町	2	H20・H27	2	54･H2			1	H15	1	61				
	高山町			2	61･H5			1	H16	1	63				
中種子町										1	62				
南種子町				1	H1			1	H16	1	61	1	H1		
屋久島町	上屋久町			1	H5			2	H12	1	62				
	屋久町	1	H28					1	H16	1	63	1	H1		
大和村				2	61･H5			1	H12					7	H4
宇検村		1	H26	2	55･H3			1	H16	1	62			6	H4
瀬戸内町		1	H21	2	53･H1			1	H14	1	62			21	H4
龍郷町		2	H11・H23	1	H3	1	H25	1	H15					8	H4
喜界町		1	R1	1	H1			1	H16	1	62			10	H4
徳之島町		2	H21・R2	2	61･H5	1	H10	1	H15	1	62	1	H1		
天城町		1	H27	1	H3			1	H15	1	62				
伊仙町		1	H27	2	55･H3			1	H14	1	62			9	H4
和泊町		1	H29	1	H4			1	H14	1	62	1	H3	5	H4
知名町		1	H29	1	H2			1	H14	1	62			6	H4
与論町		1	H30	2	61･H5			1	H16	1	62	1	H3	4	H4
鹿児島															
北薩														1	H3
姶良・伊佐				2	54･H2	1	H11					1	H1	1	H4
大隅				3	53・H1	1	H6					1	H1		
熊毛				1	H3									1	H4
大島				1	62	1	R1							1	H4
屋久島事務所						1	56								
計		61		143		19		73		71		32		459	

※整備年度欄の「H」は平成、「R」は令和、数字のみの記載は昭和

（６）赤十字救護連絡所の医薬品等補充

自然公園財団高千穂河原支部（２カ所）に赤十字救護連絡所を設置し、負傷者の手当及び関係機関への通報をお願いしている。

（７）救急用担架の配備

不特定多数の人が集合、通過する場所で急病人やけが人が発生した場合、誰でも自由に使用できるよう下記の場所に救急用担架を配備している。

○駅

鹿児島中央、鹿児島、出水、指宿、隼人、吉松

○港

鹿児島港、鹿児島新港、西之表港、名瀬港、亀徳港、和泊港、宮之浦港、垂水港、鴨池港、桜島港

○公園等

吉野公園、平川動物公園、自然公園財団高千穂河原支部、輝北うわば公園

○体育館

指宿市、枕崎市、南さつま市、出水市、伊佐市、霧島市（国分、隼人）、垂水市、曽於市

○運動場

県立野球場、県立陸上競技場、県立体育館

○神　社

霧島神宮、新田神社、護国神社

（８）洋上での遭難者に対する救援

第十管区海上保安本部所属の巡視船に、洋上での遭難者等に配分することを目的として分置している救援物資を、次のとおり配分した。

海難救援物資の第十管区海上保安本部巡視船備付　　令和３年３月３１日現在

品　名	前年度繰越	補充数	配分・消却数	翌年度へ繰越
毛布	120	20	10	130
作業服	上 120 下 120	上 24 下 24	上 14 下 14	上 130 下 130
肌着	120	27	17	130
日用品	120	20	10	130
スリッパ	120	24	14	130

※前年度繰越は、船舶及び十管本部在庫分の合計

（９）臨時救護

公的機関・団体が開催する大会、祭典、行事等に主催者の要請を受け、救護員や看護師を派遣している。

ア　「第２０回かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会」への救護班等派遣

例年、救護班１個班及び各種赤十字奉仕団を救護所に派遣しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により延期となり、従来と異なる方法で実施されたため、派遣しなかった。

イ　「鹿児島マラソン」への救護班救護

例年、救護班１個班を救護所に派遣しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

ウ　式典や行事への看護師派遣

(ｱ)　延べ派遣日数　　３日
(ｲ)　派遣看護師　　４人
(ｳ)　取り扱い患者数　　０人

（１０）非常時の炊き出し訓練の実施

学校、社会福祉協議会の依頼により職員を派遣し、炊飯袋を使った炊き出し訓練を実施した。

・依頼件数　：　２件
・参加人数　：９３人

（１１）赤十字防災セミナーの実施

過去の災害から得た教訓を踏まえ、いつ起こるか分らない災害からいのちを守るために必要な「自助」と「共助」の力を高めていただく「防災・減災教育」の一環として、赤十字防災セミナーを下記のとおり実施した。

実施日	開催地域（市町村）	実施団体	受講者数（人）	実施内容
6月10日(水)	南九州市	障害者支援施設　慈生園	2	災害エスノグラフィー
8月24日(月)	姶良市	医療法人玉昌会	15	災害エスノグラフィー
11月1日(日)	鹿児島市	田上団地自主防災会	18	災害エスノグラフィー
3月3日(水)	南九州市	障害者支援施設　慈生園	4	災害エスノグラフィー
計			39	

・災害エスノグラフィー：過去の災害での災害者インタビューや記録を通じて、被災の具体的なイメージを把握・理解する。

（１２）死亡弔慰金の支給

自然災害や火災等により死亡した方の遺族に対し、死亡弔慰金（１人２万円）を支給した。

地区・分区名	支給月	件数	支給金額（円）
鹿児島市地区	4	1	20,000
東串良町分区	8	1	20,000
南さつま市地区	8	1	20,000
阿久根市地区	9	1	20,000
霧島市地区	10	1	20,000
霧島市地区	11	1	20,000
霧島市地区	12	1	40,000
鹿児島市地区	12	1	20,000
鹿屋市地区	12	1	20,000
南九州市地区頴娃分区	12	1	40,000
鹿児島市地区	1	1	20,000
志布志市地区	2	1	20,000
南さつま市地区	3	1	20,000
鹿児島市地区	3	1	20,000
計		14	320,000

（１３）義援金の取扱い状況

国内において発生した災害被災者を救援するため義援金の募集を行ったが、次のとおり県民の皆様から温かい善意が寄せられた。　　令和３年３月３１日現在

義援金の名称（受付期間）	累　計	
	件数	金　額　（円）
東日本大震災災害義援金 （平成 23 年 3 月 12 日～令和 3 年 3 月 31 日）	10,296	1,387,701,908
平成 28 年熊本地震災害義援金 （平成 28 年 4 月 15 日～令和 3 年 3 月 31 日）	1,898	206,083,947
平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金 （平成 29 年 7 月 7 日～令和 3 年 3 月 31 日）	430	43,933,328
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金 （平成 30 年 7 月 10 日～令和 3 年 6 月 30 日）	617	99,914,738
令和元年台風 19 号災害義援金 （令和元年 10 月 16 日～令和 3 年 3 月 31 日）	380	42,045,301
令和 2 年 7 月豪雨災害義援金 （令和 2 年 7 月 7 日～令和 4 年 3 月 31 日）	329	24,711,018
令和 2 年 7 月豪雨災害義援金（鹿児島県）※ （令和 2 年 7 月 13 日～令和 2 年 12 月 28 日）	112	85,357,463
令和 3 年 2 月福島県沖地震災害義援金 （令和 3 年 2 月 24 日～令和 3 年 5 月 31 日）	12	250,699
合　　計	14,074	1,889,998,402

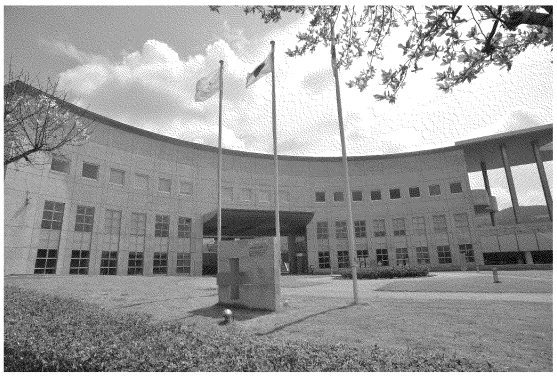
※うち、本社受付分：６７，１４４，５３１円

寄せられた義援金(県支部受付分)は、全額日本赤十字社本社を通じて被災自治体に送金している。

２　看　護　師　の　養　成

救護員として救護業務に従事する看護師および医療施設で必要な看護師を養成するために、日本赤十字九州国際看護大学（福岡県宗像市）の学生３人（２年～４年生 各１人）に対し、日本赤十字社鹿児島県支部奨学金を貸与した。

また、同大学の学生４人（１～４年生 各１人）に鹿児島赤十字病院が貸与している奨学金の一部を助成した。



日本赤十字九州国際看護大学



授業の様子

３　救急法等の講習

人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を伝える「救急法」「水上安全法」「幼児安全法」および「健康生活支援講習」の４種類の講習を、令和２年度は次のとおり実施した。

◇各種講習の開催状況

講習種別		回数（回）	受講者数（人）
救急法	基礎講習	15	272
	救急員養成講習	0	0
	短期講習	101	7,773
	計	116	8,045
水上安全法	救助員養成講習Ⅰ	0	0
	救助員養成講習Ⅱ	0	0
	短期講習	9	429
	計	9	429
健康生活支援講習	支援員養成講習	0	0
	短期講習	20	557
	計	20	557
幼児安全法	支援員養成講習	0	0
	短期講習	42	1,358
	計	42	1,358
合　計		187	10,389

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した講習及び期間
- 救急法等短期講習: 令和２年４月１日～５月３１日
- 救急法基礎講習：令和２年４月１日～９月３０日
- 救急法基礎講習以外の一般普及講習：令和２年４月１日～令和３年３月３１日

（１）救　急　法

日常生活における事故防止や手当の基本、心肺蘇生、ＡＥＤ（自動体外式除細動器）を用いた除細動、止血の仕方、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を学ぶ講習。

ア　基礎講習

新型コロナウイルス蔓延下における救急法基礎講習の実施にかかる暫定措置を定めて実施した。

	実施日	対象	主　　催	受講者（人）
1	10 月　12 日	学　生	鹿児島城西高等学校（日置市）	16
2	11 月　 5 日	職　域	鹿児島県社会福祉協議会（鹿児島市）	26
3	11 月　10 日	学　生	鳳凰高等学校（南さつま市）	12
4	12 月　 5 日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）※１	13
5	12 月　 5 日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）※１	13
6	1 月　15 日	一　般	屋久島環境文化研修センター（屋久島町）	9
7	1 月　19 日	学　生	国分中央高等学校（霧島市）	40
8	2 月　 7 日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	10
9	2 月　24 日	学　生	鹿児島医療技術専門学校（鹿児島市）	9
10	3 月　 6 日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）※１	8
11	3 月　 6 日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）※１	12
12	3 月　 7 日	学　生	鹿児島大学（鹿児島市）	12
13	3 月　 8 日	学　生	神村学園専修学校（いちき串木野市）※２	38
14	3 月　 8 日	学　生	神村学園専修学校（いちき串木野市）※２	18
15	3 月　 9 日	学　生	神村学園専修学校　（いちき串木野市）	36
合計 15 回				272

※１　新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、二つの会場に分けて実施した。
※２　神村学園専修学校 理学療法学科・作業療法学科対象講習を同日に実施した。

イ　救急員養成講習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

ウ　「ワールド・ファーストエイド・デー　２０２０」

国際赤十字・赤新月社連盟では、毎年９月の第２土曜日を「ワールド・ファーストエイド・デー（世界救急法の日）」と定め、救急法等の普及を世界各地で行っており、鹿児島県支部もこれに合わせて普及活動を行った。

(ｱ) ８月２７日（木）に、鹿児島市の鹿児島情報高等学校において、生徒１，４５０人を対象に「コロナ禍における一次救命処置」の講習を実施した。

各クラスの代表者がメインホールで胸骨圧迫とＡＥＤの使い方を受講し、その他の生徒は各クラスにおいてオンラインで受講した。

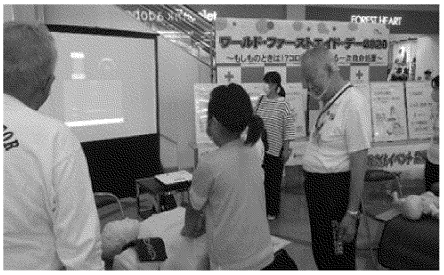


メインホールでの実技講習



各教室へのオンライン中継

(ｲ) ９月２６日（土）に、鹿児島市のオプシアミスミにおいて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえた市民による一次救命処置の内容をパネル掲示し、クイズラリーで学んでいただいた。



アプリを活用した心肺蘇生の講習



パネル掲示・クイズラリー

エ　短期講習

県下各地域で１０１回実施し、７，７７３人の受講者があった。

（２）水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習。

ア　救助員養成講習Ⅰ（プールを使った講習）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

イ　救助員養成講習Ⅱ（海での講習）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

ウ　親子で体験！「海の安全教室」

水に親しみ、水の事故から命を守るために必要な知識・技術を学んでいただくことを目的に計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

エ　短期講習

県下各地域で９回実施し、４２９人の受講者があった。

（３）健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け役立つ介護技術を学ぶ講習。

ア　支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

イ　短期講習

県下各地域で２０回実施し、５５７人の受講者があった。

（４）幼児安全法

子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気の症状に対する手当などの知識と技術を学ぶ講習。

ア　支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

イ　短期講習会

県下各地域で４２回開催し、１，３５８人の受講者があった。

（５）新型コロナウイルス感染症に関連する差別・偏見をなくす活動

新型コロナウイルス感染症に関連した差別や偏見等をなくすための情報発信を行った。

ア　小冊子の配布および情報提供

各赤十字奉仕団の委員長へ日本赤十字社本社作成の冊子「新型コロナウイルスの３つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」を送付し、団員や地域への周知を依頼した。また、青少年赤十字加盟校へ新型コロナウイルス感染症に関する教育資材として上記冊子や絵本アニメーション「ウイルスの次にやってくるもの」を案内した。

イ　新型コロナウイルス感染症に関する講話

(ｱ) １０月２２日（木）　姶良市教育委員会（加治木ゆずり葉学級）

(ｲ) １０月２６日（月）　姶良市更生保護女性会

(ｳ) １１月１７日（火）　姶良市教育委員会（加治木あやめ学級）

（６）救急法等指導員の在籍状況

令和３年３月３１日現在

区　　分	支部職員（人）	施設職員（人）	ボランティア（人）	計（人）
救　急　法	7	27	78	112
水上安全法	2	9	31	42
健康生活支援講習	2	14	10	26
幼児安全法	3	8	24	35
計	14	58	143	215

4　赤十字奉仕団の活動

赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神のもとに、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織である。

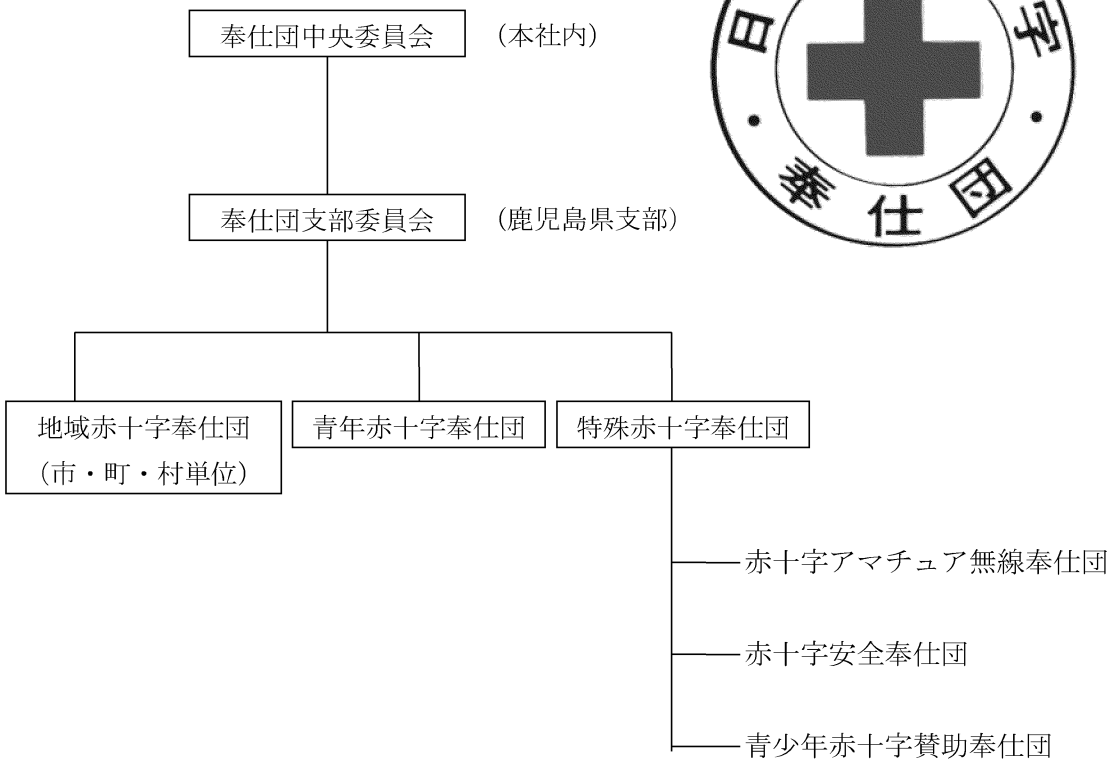
赤十字奉仕団は、明るく住みよい地域社会を築きあげていくために地域ごとに結成されている地域赤十字奉仕団と、勤労青年や学生によって結成されている青年赤十字奉仕団、及びアマチュア無線など特殊な技術を持った人達で結成されている特殊赤十字奉仕団からなっている。

赤十字奉仕団員の信条

一、すべての人びとのしあわせをねがい、
　陰の力となって人びとに奉仕する。
一、常にくふうして人びとのために、
　よりよい奉仕ができるよう努める。
一、身近な奉仕をひろげ、
　すべての人びとと手をつないで、
　世界の平和につくす。

（１）赤十字奉仕団組織図





（２）赤十字奉仕団及び奉仕団員数

令和３年３月３１日現在

区分		団数	団員数		
			男（人）	女（人）	計（人）
地域赤十字奉仕団		60	180	14,471	14,651
青年赤十字奉仕団		1	4	12	16
特殊奉仕団	赤十字アマチュア無線奉仕団	1	316	8	324
	赤十字安全奉仕団	1	92	59	151
	青少年赤十字賛助奉仕団	1	36	6	42
計		64	628	14,556	15,184

（３）地域赤十字奉仕団結成状況

令和３年３月３１日現在

区別	市町村数（A）	奉仕団結成地域（B）	奉仕団数	結成率（B／A）（%）
市	19	16	42	84.2
町・村	24	18	18	75.0
計	43	34	60	79.0

（４）総会及び研修会等開催状況

行事名	期日	参加数（人）	会場	主催
青年赤十字奉仕団総会	4月12日	8	赤十字会館	青年奉仕団
赤十字奉仕団鹿児島県支部委員会	2月5日	11	県婦人会館	支部委員会 支部
赤十字安全奉仕団総会	文書審議			安全奉仕団
青少年赤十字賛助奉仕団総会	文書審議			賛助奉仕団
赤十字奉仕団委員長会議	中止			支部
赤十字ボランティアリーダーシップ研修	中止			支部
九州ブロック赤十字奉仕団委員長会議	次年度へ延期			福岡県支部

（５）地域赤十字奉仕団研修会開催状況

赤十字についての知識や奉仕団活動に必要な技術を習得し、奉仕団員の意識高揚を図ることを目的に次の９奉仕団が開催した。

当初は１７の奉仕団が計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により８奉仕団での開催が中止となった。

奉仕団名	開催日	参加数(人)	会　場
鹿児島市郡山	9月 24日(木)	38	郡山中央構造改善センター
日置市日吉	10月 9日(金)	36	日吉老人福祉センター
志布志市有明	10月 13日(火)	30	川西地区公民館
鹿児島中央	11月 4日(水)	42	鹿児島市教育総合センター
鹿児島市城山きずな	11月 14日(土)	18	易居町公民館
日置市伊集院	11月 16日(月)	58	日置市中央公民館
日置市吹上	11月 17日(火)	36	日置市吹上中央公民館
志布志市志布志	11月 18日(水)	15	志布志市健康ふれあいプラザ
指宿市山川	1月 20日(水)	30	山川老人福祉センター
合　　計		303	

(中止となった奉仕団)

鹿児島市吉田、指宿市指宿、肝付町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町

（６）地域高齢者生活支援事業の実施

地域赤十字奉仕団が高齢者世帯を訪問し、話し相手・買物・清掃援助等の生活支援活動を実施した。活動費の補助として次の２７奉仕団に１団あたり３万円を交付した。

- 鹿児島市谷山
- 鹿児島市城山きずな
- 鹿児島市吉田
- 鹿児島市郡山
- 指宿市指宿
- 薩摩川内市川内
- 薩摩川内市祁答院
- 日置市伊集院
- 日置市吹上
- 霧島市隼人
- 霧島市牧園
- 南さつま市
- 志布志市志布志
- 志布志市有明
- 奄美市住用
- 奄美市笠利
- 南九州市知覧
- 姶良市姶良
- 姶良市加治木
- 姶良市蒲生
- さつま町
- 屋久島町
- 徳之島町
- 天城町
- 伊仙町
- 和泊町
- 知名町

（７）赤十字奉仕団登録一覧表

令和３年３月３１日現在

番号	奉仕団名	結成年月日	団員数		
			男	女	合計
1	鹿児島市	S25.4.1	0	16	16
2	鹿児島中央	S41.4.1	0	227	227
3	鹿児島市谷山	S52.4.1	0	25	25
4	鹿児島市吉田	S24.12.1	0	44	44
5	鹿児島市郡山	S24.12.1	0	30	30
6	鹿児島市城山きずな	R2.4.1	0	15	15
7	鹿屋市	S24.12.1	0	120	120
8	出水市	H10.3.19	4	94	98
9	指宿市	S24.12.1	0	27	27
10	指宿市山川	S24.12.1	0	35	35
11	西之表市	S24.12.1	0	31	31
12	薩摩川内市川内	H3.4.17	0	185	185
13	薩摩川内市樋脇	S24.12.1	0	30	30
14	薩摩川内市入来	S56.4.1	0	45	45
15	薩摩川内市東郷	S24.12.1	0	110	110
16	薩摩川内市祁答院	S24.12.1	0	56	56
17	薩摩川内市下甑	H28.4.1	10	33	43
18	日置市東市来	S24.12.1	0	50	50
19	日置市伊集院	S24.12.1	0	70	70
20	日置市日吉	S24.12.1	1	154	155
21	日置市吹上	S56.4.1	0	302	302
22	曽於市大隅	S30.4.1	17	97	114
23	曽於市財部	S38.4.1	27	62	89
24	曽於市末吉	S52.4.1	65	227	292
25	霧島市国分	S24.12.1	0	346	346
26	霧島市牧園	S24.12.1	4	111	115
27	霧島市霧島	S24.12.1	0	21	21
28	霧島市隼人	S24.12.1	0	370	370
29	いちき串木野市	S24.12.1	0	3,749	3,749
30	南さつま市	S24.12.1	0	289	289
31	志布志市志布志	S56.4.1	0	550	550
32	志布志市有明	S24.12.1	0	60	60
33	奄美市名瀬	S60.9.1	0	135	135
34	奄美市住用	H元.7.1	0	142	142
35	奄美市笠利	S62.9.1	0	580	580
36	南九州市頴娃	S24.12.1	0	58	58
37	南九州市知覧	S24.12.1	0	130	130
38	南九州市川辺	S24.12.1	0	65	65
39	伊佐市	H2.10.5	48	106	154
40	姶良市姶良	S30.4.1	0	21	21
41	姶良市加治木	R2.4.1	0	20	20
42	姶良市蒲生	S24.12.1	0	88	88
43	さつま町	S24.12.1	0	18	18
44	大崎町	S56.4.1	4	68	72
45	錦江町	S24.12.1	0	20	20
46	南大隅町	S24.12.1	0	172	172
47	肝付町	S24.12.1	0	108	108
48	南種子町	S52.4.1	0	473	473
49	屋久島町	S24.12.1	0	55	55
50	大和村	H元.7.21	0	97	97
51	宇検村	H5.7.1	0	80	80
52	瀬戸内町	S62.4.28	0	435	435
53	龍郷町	S62.5.10	0	700	700
54	喜界町	H2.5.17	0	719	719
55	徳之島町	H元.4.1	0	650	650
56	天城町	H元.4.1	0	700	700
57	伊仙町	H元.7.1	0	248	248
58	和泊町	S59.8.15	0	550	550
59	知名町	S62.6.1	0	352	352
60	与論町	S62.5.1	0	100	100
地域奉仕団　計60団			180	14,471	14,651
61	青年	S30.4.1	4	12	16
青年奉仕団　計1団			4	12	16
62	安全	S54.2.17	92	59	151
63	ｱﾏﾁｭｱ無線	S50.4.1	316	8	324
64	賛助	H14.11.13	36	6	42
特殊奉仕団　計3団			444	73	517
総計　64団			628	14,556	15,184

5　青少年赤十字の活動

赤十字は、未来を担う子どもたちが、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、優しさや思いやりの心を育むために、学校教育現場において青少年赤十字活動を推進している。

また、活動の充実のためにオンラインによる研修会参加や、指導にあたる教職員の指導力向上のため、指導者講習会を行った。

ちかい

わたくしは
青少年赤十字の一員として
心身を強健にし
人のためと郷土社会のため
国家と世界のために
つくすことをちかいます



実践目標

健康・安全
奉仕
国際理解・親善

態度目標

気づき
考え
実行する

（１）校種別加盟状況

令和３年３月３１日現在

区　　分	加盟学校(園)数	メンバー数(人)	鹿児島県内の設置状況等	
			学校(園)数	児童生徒数(人)
幼　稚　園	32	3,634	211	15,206
保　育　園	32	1,629	－	－
小　学　校	297	51,355	499	89,707
中　学　校	124	22,852	225	44,937
高 等 学 校	23	9,853	89	42,627
特別支援学校	4	320	17	2,471
合　計	512	89,643	1,041	194,948

※鹿児島県内の学校（園）数、児童生徒数(保育園を除く)は令和２年４月８日現在。
（休校中の学校は除く。令和２年度「鹿児島県の教育行政」より）
保育所(園)は、教育委員会管轄でないため、園数・園児数については実数を把握できない。

（２）加盟校の推移

年　度	区　　分	幼・保	小学校	中学校	高校	特別支援	小～特小計	合計
令和２年	学校（園）数	64	297	124	23	4	448	512
	県加盟校率	－	59.5	55.1	25.8	23.5	54.0	－
	メンバー数	5,263	51,355	22,852	9,853	320	84,380	89,643
	県メンバー率	－	57.2	50.9	23.1	12.9	46.9	－
令和元年	学校（園）数	72	307	131	23	4	465	537
	県加盟校率	－	60.6	58.2	25.8	23.5	55.5	－
	メンバー数	5,372	51,146	22,917	10,239	296	84,598	89,970
	県メンバー率	－	56.5	50.9	23.4	12.4	46.6	－
平成 30 年	学校（園）数	70	301	130	23	4	458	528
	県加盟校率	－	59.4	56.7	25.8	23.5	54.4	－
	メンバー数	5,426	51,387	22,024	10,909	294	84,614	90,040
	県メンバー率	－	56.4	48.5	24.5	12.8	46.1	－

（３）会議等の参加及び開催

	行　　事　　名	期　　日	会　　場	参加者
本社	青少年赤十字支部担当者研修会(オンライン会議)	４月８日（水）	赤十字会館	濱田嘱託
	青少年赤十字全国指導者協議会総会	９月 11 日（金）	赤十字会館	中村会長
	全国青少年赤十字賛助奉仕団総会役員会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		
九州	青少年赤十字指導者協議会会長・担当者会議	隔年開催		
支部	青少年赤十字指導者協議会総会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		

（４）研修活動

	行　事　名	期　日	会　場	参加者等
本社	青少年赤十字 L･T･C 指導者養成講習会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		
	青少年赤十字国際交流事業（オンライン会議）	11 月 15 日(日)	赤十字会館	高校生 6 名、指導者 1 名
	指導主事対象青少年赤十字研究会（オンライン会議）	1 月 8 日(金)	赤十字会館	県教委　戸川指導主事
	青少年赤十字スタディー・プログラム（オンライン会議）	3 月 20 日(土)	赤十字会館	高校生 4 名
九州	九州ブロック青少年 赤十字指導者講習会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		
支部	校長・教頭・指導主事 対象青少年赤十字研修会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		
	園児のための青少年赤十字講習会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		
	夏季小・中学校 L･T･C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		
	夏季高等学校 L･T･C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		
	青少年赤十字指導者講習会	10 月 24 日(土)	赤十字会館	参加者 18 人
	青少年赤十字指導者講習会	11 月 7 日(土)	赤十字会館	参加者 12 人
	小・中学校一日 L･T･C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		
	青少年赤十字高校生協議会 春季総会	3 月 7 日(日)	赤十字会館	高校生 32 人

※L･T･C ＝ リーダーシップ・トレーニング・センター



青少年赤十字スタディ・プログラム（オンライン会議）



青少年赤十字指導者講習

（５）高校協議会の活動

ア　月例会の開催（月１回）

イ　特別養護老人ホーム「錦江園」の訪問

・ 今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により訪問を自粛した

ウ　献血ルームでのボランティア

・ 献血ルームでの献血の呼びかけ

（６）機関誌の発行

- 青少年赤十字機関紙「ふれあいの窓（第３８号)」　　２,０００部
- 高校生機関紙「光輝（第２９号)」　　８００部
- 青少年赤十字賛助奉仕団広報誌「さくらじま(第１０号)」　　８５０部

（７）その他の青少年赤十字活動

ア　ＮＨＫ海外たすけあい街頭募金への参加

１２月に予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった。

イ　病気見舞カードの作成

病院に入院されている人々に病気お見舞いカードの送付

ウ　使用済み切手・書損じはがきの回収

アジア、アフリカの医療に恵まれない人々を保健医療の面でサポートするために活用する。(公益社団法人　日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）へ送付)

エ　ペットボトル・キャップの回収

予防接種を受けられない発展途上国の子どもたちのワクチン代として活用する。

延べ４学校　約２１７ｋｇを株式会社新興へ(新興はリサイクル業者で換金後、「認定NPO法人　世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV)」へ送金。)

オ　１円玉募金の実施

２カ国（ネパール、バヌアツ）に対し、子どもたちが衛生的な行動を身につける知識と技術の普及や、学校における災害リスクの軽減や防災の正しい知識を得る環境整備を目的とした支援を実施している。

（延べ２学校等　５２，８０１円を本社へ送金）

カ　プルタブの回収

学校で集めたプルタブをリサイクル業者で換金後、１円玉募金として、本社に送金。

（延べ２学校　１７５ｋｇ・８，７５０円）

（８）校種別加盟校名簿

ア　保育園・幼稚園　　令和３年３月３１日現在

市町村	保育園	幼稚園
鹿児島市	真砂、原良、武、ほぴあこども 柳田、吉野、南林寺、玉里 西紫原、松原、清水、あたご 下伊敷、田上、鴨池、薬師 なぎさ	太陽の子、辻ヶ丘、鴨池しらうめ 玉里善き牧者、谷山善き牧者 鹿女短附属かもめ、鹿児島 若葉、千年、清谿、鹿女短附属すみれ 武、桜ヶ丘中央
鹿屋市		信愛こどもの園、いずみ
指宿市		柳和、指宿
垂水市		カトリック垂水、江ノ島
薩摩川内市	高城、善福寺、びぼあ、大村 隈之城、青山、勝目、あさひ	青山、ひわき かのこ
日置市	あづま	土橋
曽於市		大隅中央
姶良市	川野	
霧島市		カトレア、あおば
いちき串木野市		旭
南さつま市		加世田しらうめ
南九州市	頴娃	
さつま町	恵光	鶴田
長島町		獅子島
肝付町	あけぼの	大空
屋久島町		すみれ
和泊町	わどまり	
知名町	しらゆり	
計	３２園	３２園

イ　小学校・中学校　　令和３年３月３１日現在

市町村	小学校	中学校
鹿児島市	大明丘、名山、山下、城南、◎吉田 原良、明和、武岡、清水、福平 武、田上、広木、中洲、中名 八幡、紫原、鴨池、南、桜丘東 宇宿、向陽、伊敷、伊敷台、花野 黒神、谷山、吉野東、坂元台、清和 平川、坂元、中郡、花尾、皇徳寺 本名、宮、本城、牟礼岡、桜洲 東桜島、前之浜、石谷、春山、郡山 南方、生見、喜入、桜峰、瀬々串 西田、西紫原、大龍、◎西伊敷	坂元、甲東、武岡 武、天保山、南、伊敷台 谷山、谷山北 吉田北、吉田南、鴨池、伊敷 桜島、郡山、福平、桜丘 和田、吉野、星峯、喜入 錫山、松元
鹿屋市	笠野原、田崎、西原、寿、祓川 串良、野里、南、輝北 上小原、細山田、大黒 鹿屋、大姶良、鶴峰 高隈、東原、寿北、西俣 西原台、吾平、下名、花岡学園	鹿屋、第一鹿屋、鹿屋東 串良、上小原、吾平、輝北 花岡学園、大姶良、細山田、高隈 田崎
枕崎市	枕崎、◎立神	立神
阿久根市	折多、尾崎、脇本、大川 阿久根、鶴川内、田代	阿久根、三笠、鶴川内
出水市	出水、西出水、米ノ津、米ノ津東 上場、野田、蕨島、下水流、鶴荘学園	出水、高尾野、鶴荘学園、米ノ津 大川内
指宿市	指宿、今和泉、利永、開聞、川尻 山川	南指宿、西指宿
西之表市	下西、安城、上西	
垂水市	柊原、協和、牛根、松ヶ崎、新城 水之上、垂水	垂水中央
薩摩川内市	川内、隈之城、平佐東、永利、峰山 八幡、高来、樋脇、水引、◎平佐西 副田、藺牟田、上手、 手打、東郷学園 大喜、城上、亀山 黒木、入来、市比野	入来、祁答院 里、海陽 海星、水引、東郷学園
日置市	湯田、美山 伊集院、土橋、永吉	上市来、土橋、鹿児島育英館 日吉、伊集院
曽於市	笠木、大隅南、高岡、諏訪、岩北 檍、深川、柳迫、月野、財部南 光神、恒吉、中谷、岩南	財部
霧島市	国分、横川、安良、佐々木 中津川、霧島、富隅、小浜、福山 中福良、持松、向花、万膳、大田 宮内、小野、国分南、◎塚脇	国分、牧園 隼人、溝辺

いちき串木野市	串木野、照島、羽島、旭、生福 冠岳、川上、神村学園初等部	串木野、串木野西、生冠、市来 神村学園中等部
南さつま市	加世田、阿多、笠沙、田布施 大浦、内山田、長屋、川畑	加世田、金峰
志布志市	泰野、志布志、原田、森山、田之浦 有明、松山、通山、尾野見	有明、松山、◎宇都
奄美市	朝日、赤木名、緑が丘、手花部 佐仁、節田、崎原	小宿、崎原
南九州市	頴娃、別府、松ケ浦、大丸、松原 中福良、霜出、九玉、川辺、◎勝目	川辺
伊佐市	大口東、羽月、曽木、羽月西 本城、牛尾、菱刈	
姶良市	三船、北山、加治木、帖佐 漆、西浦、蒲生	山田
三島村	三島、大里、竹島、片泊	三島、大里、竹島、片泊
十島村	悪石島、中之島、平島 諏訪瀬島、宝島、口之島	悪石島、中之島、平島 諏訪瀬島、宝島、口之島
さつま町	流水、鶴田、永野 柏原	宮之城
長島町	川床、城川内、獅子島	川床、獅子島、長島、鷹巣
湧水町	上場	栗野、吉松
大崎町	大丸、大崎、中沖	
東串良町	柏原	
錦江町	神川、大原	田代、錦江
南大隅町	神山、佐多	根占、第一佐多
肝付町	波野、内之浦、国見	
中種子町	◎星原	
南種子町	花峰、茎南、大川、平山、長谷	
屋久島町	金岳、八幡、神山	金岳、安房
大和村	大棚、今里	大和
宇検村	名柄	田検、名柄
瀬戸内町	薩川、諸鈍、伊子茂 与路、阿木名、◎池地	諸鈍、伊子茂 阿木名、与路
龍郷町	龍郷、円、龍瀬、赤徳	赤徳
喜界町		喜界
徳之島町	亀津、花徳、母間、神之嶺	井之川、亀津、東天城、手々、山、尾母
	手々、山、尾母、亀徳	
天城町	兼久、西阿木名	西阿木名、北
伊仙町	◎喜念	面縄
和泊町	大城、内城、国頭、和泊	城ヶ丘、和泊
知名町	下平川、知名、上城	田皆、知名
与論町	那間、与論、茶花	与論
計	２９７校	１２４校

◎は新規加盟（Ｒ２）

ウ　高等学校・特別支援学校　　令和３年３月３１日現在

市町村	高等学校・特別支援学校
鹿児島市	鹿児島玉龍、鹿児島実業、鹿児島 鹿児島情報、鹿児島女子、甲南 樟南、武岡台
鹿屋市	鹿屋養護学校
枕崎市	鹿児島水産
出水市	出水中央
指宿市	指宿、指宿養護学校
日置市	鹿児島育英館、鹿児島城西
霧島市	国分中央、福山
いちき串木野市	神村学園
南さつま市	鳳凰、加世田常潤、南薩養護学校
志布志市	尚志館
南九州市	薩南工業
さつま町	薩摩中央
南大隅町	南大隅
中種子町	中種子養護学校
与論町	与論
計	２７校

高校２３校　　特別支援学校４校

６　国　　際　　活　　動

世界には、現在１９２の国々に赤十字社や赤新月社等があり、日本赤十字社は、その一員としてジュネーブにある赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟及び各国の赤十字社や赤新月社と連携を取りあって、紛争や自然災害などで苦しんでいる人々に対する緊急救援・復興支援から長期にわたる人道ニーズへの取組みまで、長期にわたり支援を行っている。

（１）「ＮＨＫ海外たすけあい」寄附金募集

１２月１日から２５日まで、日本放送協会(NHK)及び社会福祉法人ＮＨＫ厚生文化事業団との共催により「第３８回ＮＨＫ海外たすけあい」キャンペーンを実施した。

例年、県内６会場で実施していた街頭募金活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。



（参考）令和元年の街頭募金の様子
（天文館）



（参考）令和元年の NHK 鹿児島児童合唱団によるコンサート

（２）海外救援金の取扱い状況

令和３年３月３１日現在

救援金の名称（受付期間）	累　計	
	件　数	金　額　（円）
中東人道危機救援金 （平成 27 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日）	5	25,502
バングラデシュ南部避難民救援金 （平成 29 年 9 月 22 日～令和 3 年 3 月 31 日）	1	5,715
合　　計	6	31,217

（３）その他

ア　外国からの引揚者に対する援護

中国からの本県永住帰国者に対し長年の苦労に報いるため、援護金及び援護品を支給しているが、令和２年度の該当は無かった。

イ　安否調査

赤十字では、戦争その他の事故等により海外で消息を絶った人の動静を調査しているが、本県支部における令和２年度の取り扱いは無かった。

7　広　報　活　動

赤十字に対する県民の理解と協力を促進するため、５月の会員増強運動月間を中心に、イベントの活用、チラシや機関紙の配布、地区・分区の協力を通じた地域住民への広報を行ったほか、各地区・分区、奉仕団、青少年赤十字加盟校などへ視聴覚資材の貸出しを行い、赤十字思想の普及に役立ててもらった。

（１）５月の会員増強運動月間広報

ア　「赤十字レッドライトアッププロジェクト２０２０」の実施

株式会社山形屋にご協力をいただき、５月１日から５月３１日までの期間、建物を赤十字の赤色にライトアップし、赤十字運動月間の周知及び「人道」の理解促進に努めた。また、同施設に赤十字活動資金協力呼びかけの懸垂幕を掲出した。





イ　天文館わくわくワークへの出展

５月の大型連休中、鹿児島市の天文館アーケードにおいて開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベントが中止となった。





（参考）令和元年５月３日、４日の天文館わくわくワークの様子

ウ　啓発活動

例年５月初旬、天文館エリアにて、リーフレット等を配布し啓発活動を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。




（参考）令和元年５月２日の啓発活動の様子

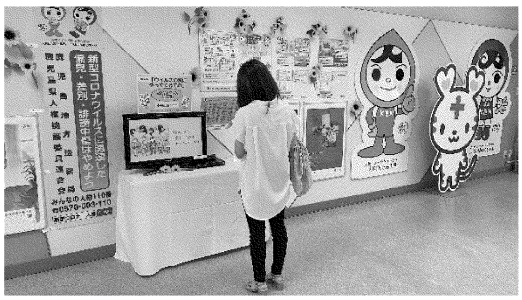
（２）各種イベント等の活用による広報

ア　鹿児島地方法務局との共催イベント開催

「新型コロナウイルスの３つの顔を知ろう～啓発パネル展～」

７月１日から７月１４日まで山形屋３号館ブリッジギャラリーにて開催した。

日本赤十字社では、新型コロナウイルスがもつ病気・不安・差別という３つの顔に焦点を当て、それらが繋がる負のスパイラルについて解説した広報資材を作成したことから、鹿児島地方法務局と人権啓発イベントを共催し、啓発活動を行った。

イ　かごしまＳＤＧｓキャンペーン

「あっ、#サスティナブル　わたしSDGsはじめました。」への出展

１１月２１日、天文館本通りアーケード及び天文館ぴらもーるにおいて開催された標記キャンペーンに赤十字ブースを出展し、赤十字の理解促進に努めた。

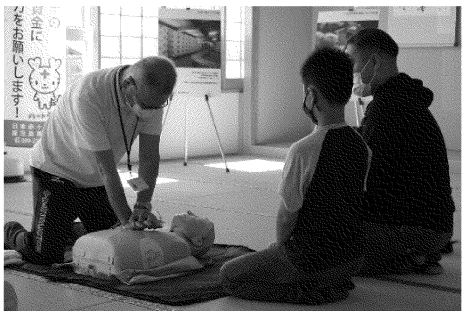




ウ　社会福祉大会での広報

例年、各市町村社会福祉協議会主催の社会福祉大会において、非常食炊き出し、事業紹介パネル等の展示を行っていたが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により多くの地域で中止となった。





第９回あいら福祉まつり（姶良市）

（３）見学誘致・出前講座による広報

地域住民の団体等の研修視察場所として県支部の災害救援物資備蓄倉庫等を見学いただく誘致活動や出前講座により、日赤県支部の事業内容及び赤十字会費・寄付の使途について理解促進に努めた。当年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により回数及び参加人数等が減少し、約９０名に受講いただいた。





（４）刊行物による広報

◆支部発行◆

機関紙「赤十字かごしま」	（年２回）	６５，０００部
赤十字会員増強運動月間用チラシ	（年１回）	３４５，０００部
講習パンフレット	（年１回）	１０，０００部
事業年報	（年１回）	６５０部
事業計画	（年１回）	３００部
各種講習計画	（年１回）	５，０００部

◆本社発行◆

赤十字新聞	（月　刊）	２１，３００部
パンフレット	（年１回）	１１，０００部
ポスター	（年１回）	２，０００部

（５）インターネットによる広報

ホームページを活用して、赤十字事業について広く県民各層へ情報発信を行った。

８　赤　十　字　大　会

（１）　全国赤十字大会

５月２０日（水）、日本赤十字社名誉総裁皇后陛下及び名誉副総裁各妃殿下のご臨席のもと、東京明治神宮会館で開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

（２）九州八県赤十字大会

本年度は大分県において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により次年度に延期された。

（３）鹿児島県赤十字有功会総会

有功章等受章(彰)者(社)で組織されている鹿児島県赤十字有功会総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により文書審議にて開催された。

・総　　会　令和元年度事業報告、同収支決算説明並びに令和２年度事業計画、同収支予算および役員選出案が提案され、原案どおり承認された。
また、役員改選に基づき、新会長として松前邦昭様が選出された。



（参考）令和元年全国赤十字大会



（参考）令和元年度有功会総会における
会長挨拶（赤塚前会長）

９　会　員　増　強　運　動

赤十字が行う各種事業の財源は、県民からの会費（会費や寄付金）によって支えられており、その増強及び遺贈・相続財産による寄付の普及啓発に努めた。さらに赤十字サポーター（継続的な日赤活動資金の納入に加え、日赤の活動に積極的に協力いただける企業・団体）の募集活動を行った。

また、人道・博愛の赤十字思想の普及と会員の増強を図るため、５月を会員増強運動月間として、県下一斉に展開した。

※継続的な赤十字事業の支援団体「赤十字サポーター」として現在８社を認定し、平成３０年度に創設した「災害救護赤十字サポーター」として３３社を認定した。

（１）令和２年度会費募集状況及び過去５カ年間の推移

区分／年度	目標額（千円）		実績額（円）	達成率（%）
平成 28 年度	一般会費	238,000	205,286,166	86.3
	法人会費	32,000	17,492,682	54.7
	計	270,000	222,778,848	82.5
平成 29 年度	一般会費	233,000	238,171,445	102.2
	法人会費	32,000	19,032,150	59.5
	計	265,000	257,203,595	97.1
平成 30 年度	一般会費	233,000	196,675,659	84.4
	法人会費	32,000	17,608,507	55.0
	計	265,000	214,284,166	80.9
令和元年度	一般会費	228,000	186,508,131	81.8
	法人会費	32,000	18,445,979	57.6
	計	260,000	204,954,110	78.8
令和２年度	一般会費	228,000	214,292,982	94.0
	法人会費	32,000	31,444,099	98.3
	計	260,000	245,737,081	94.5

（２）令和２年度地区・分区別社資納入状況一覧表（対社資目標額比較）

地区・分区	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
鹿児島市	93,346,500	46,842,011	50.2%
鹿児島地域	86,887,000	41,790,902	48.1%
吉田地域	1,465,500	1,111,925	75.9%
桜島地域	481,000	620,600	129.0%
松元地域	2,027,000	996,384	49.2%
郡山地域	975,500	829,300	85.0%
喜入地域	1,510,500	1,492,900	98.8%
鹿屋市	15,238,000	9,512,647	62.4%
鹿屋地域	12,100,000	6,705,146	55.4%
輝北支所	480,500	549,500	114.4%
串良支所	1,757,500	1,563,501	89.0%
吾平支所	900,000	694,500	77.2%
枕崎市	3,231,500	3,142,800	97.3%
阿久根市	2,956,500	3,158,914	106.8%
出水市	7,522,500	7,497,254	99.7%
出水地域	5,231,000	4,269,752	81.6%
野田支所	563,500	1,105,500	196.2%
高尾野支所	1,728,000	2,122,002	122.8%
指宿市	5,981,500	6,681,878	111.7%
指宿地域	3,916,000	3,776,378	96.4%
山川支所	1,286,000	1,883,000	146.4%
開聞支所	779,500	1,022,500	131.2%
西之表市	2,392,000	1,786,694	74.7%
垂水市	2,224,000	2,634,200	118.4%
薩摩川内市	13,695,500	14,129,289	103.2%
川内分区	10,112,000	9,889,879	97.8%
樋脇分区	943,500	983,501	104.2%
入来分区	695,500	813,500	117.0%
東郷分区	698,000	920,131	131.8%
祁答院分区	481,000	613,478	127.5%
上甑分区	377,500	524,300	138.9%
下甑分区	388,000	384,500	99.1%
日置市	6,512,000	7,778,402	119.4%
東市来分区	1,533,500	1,943,990	126.8%
伊集院分区	3,181,000	3,597,411	113.1%
日吉分区	657,500	912,000	138.7%
吹上分区	1,140,000	1,325,001	116.2%
曽於市	5,044,500	5,529,503	109.6%
大隅分区	1,452,500	1,564,500	107.7%
財部分区	1,166,500	1,503,001	128.8%
末吉分区	2,425,500	2,462,002	101.5%
霧島市	18,523,000	15,092,904	81.5%
国分地域	8,498,500	6,271,474	73.8%
隼人分室	5,597,000	3,627,930	64.8%
溝辺分室	1,160,000	1,348,500	116.3%
横川分室	632,000	719,500	113.8%
牧園分室	1,117,000	1,142,000	102.2%
霧島分室	723,000	1,051,000	145.4%
福山分室	795,500	932,500	117.2%
いちき串木野市	4,003,000	4,395,200	109.8%
南さつま市	4,918,500	6,497,515	132.1%
加世田地域	2,991,500	3,721,304	124.4%
笠沙支所	369,500	575,710	155.8%
大浦支所	283,000	454,500	160.6%
坊津支所	431,500	584,000	135.3%
金峰支所	843,000	1,162,001	137.8%
志布志市	4,575,000	4,204,903	91.9%
志布志地域	2,536,500	2,122,501	83.7%
松山支所	551,500	678,500	123.0%
有明支所	1,487,000	1,403,902	94.4%
奄美市	6,677,500	2,753,917	41.2%
名瀬地域	5,856,000	1,944,717	33.2%
笠利分区	821,500	809,200	98.5%
南九州市	5,015,500	9,197,600	183.4%
頴娃分区	1,649,500	2,019,800	122.4%
知覧分区	1,606,000	4,954,300	308.5%
川辺分区	1,760,000	2,223,500	126.3%

地区・分区	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
伊佐市	4,010,000	4,539,303	113.2%
大口分区	2,854,000	3,297,102	115.5%
菱刈地域	1,156,000	1,242,201	107.5%
姶良市	11,026,500	6,697,541	60.7%
姶良地域	6,927,000	3,091,402	44.6%
加治木支所	3,199,500	2,578,639	80.6%
蒲生支所	900,000	1,027,500	114.2%
小計	216,893,500	162,072,475	74.7%
三島村	61,500	63,500	103.3%
十島村	127,000	115,822	91.2%
小計	188,500	179,322	95.1%
さつま町	3,146,500	3,818,003	121.3%
小計	3,146,500	3,818,003	121.3%
長島町	1,403,000	1,781,502	127.0%
小計	1,403,000	1,781,502	127.0%
湧水町	1,349,000	1,622,000	120.2%
小計	1,349,000	1,622,000	120.2%
大崎町	1,968,500	1,802,500	91.6%
小計	1,968,500	1,802,500	91.6%
東串良町	903,000	1,048,405	116.1%
錦江町	1,064,000	1,439,500	135.3%
南大隅町	1,092,500	1,411,100	129.2%
肝付町	2,217,000	3,758,452	169.5%
小計	5,276,500	7,657,457	145.1%
中種子町	1,179,500	1,320,000	111.9%
南種子町	897,500	565,600	63.0%
屋久島町	1,994,000	2,237,845	112.2%
小計	4,071,000	4,123,445	101.3%
大和村	235,000	249,500	106.2%
宇検村	265,500	442,200	166.6%
瀬戸内町	1,441,500	912,865	63.3%
龍郷町	855,500	827,725	96.8%
喜界町	1,040,000	1,206,000	116.0%
徳之島町	1,586,500	2,174,568	137.1%
天城町	835,500	1,107,700	132.6%
伊仙町	887,500	776,800	87.5%
和泊町	959,500	1,069,100	111.4%
知名町	850,500	1,069,000	125.7%
与論町	746,500	27,600	3.7%
小計	9,703,500	9,863,058	101.6%
市地区計	216,893,500	162,072,475	74.7%
郡地区計	27,106,500	30,847,287	113.8%
市郡地区計	244,000,000	192,919,762	79.1%

支部	52,817,319
地区ＤＭ	17,174,593
地区送納書	173,467,609
本社	2,277,560
合計	245,737,081

（３）令和２年度地区･分区別社資納入状況一覧表（対前年度比較）

地区・分区	令和２年度（円）	令和元年度（円）	対前年(%)
鹿児島市	46,842,011	46,866,365	99.9%
鹿児島地域	41,790,902	41,378,380	101.0%
吉田地域	1,111,925	1,360,275	81.7%
桜島地域	620,600	640,200	96.9%
松元地域	996,384	1,085,200	91.8%
郡山地域	829,300	830,400	99.9%
喜入地域	1,492,900	1,571,910	95.0%
鹿屋市	9,512,647	9,405,373	101.1%
鹿屋地域	6,705,146	5,938,872	112.9%
輝北支所	549,500	650,500	84.5%
串良支所	1,563,501	1,582,501	98.8%
吾平支所	694,500	1,233,500	56.3%
枕崎市	3,142,800	3,281,900	95.8%
阿久根市	3,158,914	3,163,105	99.9%
出水市	7,497,254	6,845,153	109.5%
出水地域	4,269,752	4,039,552	105.7%
野田支所	1,105,500	997,000	110.9%
高尾野支所	2,122,002	1,808,601	117.3%
指宿市	6,681,878	6,679,469	100.0%
指宿地域	3,776,378	3,992,719	94.6%
山川支所	1,883,000	1,705,100	110.4%
開聞支所	1,022,500	981,650	104.2%
西之表市	1,786,694	1,645,097	108.6%
垂水市	2,634,200	2,730,000	96.5%
薩摩川内市	14,129,289	14,396,806	98.1%
川内分区	9,889,879	10,138,306	97.5%
樋脇分区	983,501	966,500	101.8%
入来分区	813,500	808,500	100.6%
東郷分区	920,131	952,000	96.7%
祁答院分区	613,478	604,500	101.5%
上甑分区	524,300	533,100	98.3%
下甑分区	384,500	393,900	97.6%
日置市	7,778,402	7,733,337	100.6%
東市来分区	1,943,990	1,969,976	98.7%
伊集院分区	3,597,411	3,458,360	104.0%
日吉分区	912,000	911,500	100.1%
吹上分区	1,325,001	1,393,501	95.1%
曽於市	5,529,503	5,639,004	98.1%
大隅分区	1,564,500	1,610,001	97.2%
財部分区	1,503,001	1,479,001	101.6%
末吉分区	2,462,002	2,550,002	96.5%
霧島市	15,092,904	14,144,260	106.7%
国分地域	6,271,474	5,987,857	104.7%
隼人分室	3,627,930	3,505,902	103.5%
溝辺分室	1,348,500	1,241,501	108.6%
横川分室	719,500	730,500	98.5%
牧園分室	1,142,000	1,138,000	100.4%
霧島分室	1,051,000	624,500	168.3%
福山分室	932,500	916,000	101.8%
いちき串木野市	4,395,200	4,525,900	97.1%
南さつま市	6,497,515	6,639,310	97.9%
加世田地域	3,721,304	3,822,009	97.4%
笠沙支所	575,710	610,900	94.2%
大浦支所	454,500	456,000	99.7%
坊津支所	584,000	571,000	102.3%
金峰支所	1,162,001	1,179,401	98.5%
志布志市	4,204,903	4,268,025	98.5%
志布志地域	2,122,501	1,991,401	106.6%
松山支所	678,500	709,000	95.7%
有明支所	1,403,902	1,567,624	89.6%
奄美市	2,753,917	3,767,041	73.1%
名瀬地域	1,944,717	2,734,341	71.1%
笠利分区	809,200	1,032,700	78.4%
南九州市	9,197,600	6,187,801	148.6%
頴娃分区	2,019,800	2,064,300	97.8%
知覧分区	4,954,300	1,851,001	267.7%
川辺分区	2,223,500	2,272,500	97.8%

地区・分区	令和２年度（円）	令和元年度（円）	対前年(%)
伊佐市	4,539,303	4,544,503	99.9%
大口分区	3,297,102	3,390,002	97.3%
菱刈地域	1,242,201	1,154,501	107.6%
姶良市	6,697,541	6,960,450	96.2%
姶良地域	3,091,402	3,119,744	99.1%
加治木支所	2,578,639	2,709,204	95.2%
蒲生支所	1,027,500	1,131,502	90.8%
小計	162,072,475	159,422,899	101.7%
三島村	63,500	67,770	93.7%
十島村	115,822	189,204	61.2%
小計	179,322	256,974	69.8%
さつま町	3,818,003	3,764,804	101.4%
小計	3,818,003	3,764,804	101.4%
長島町	1,781,502	1,656,502	107.5%
小計	1,781,502	1,656,502	107.5%
湧水町	1,622,000	1,629,501	99.5%
小計	1,622,000	1,629,501	99.5%
大崎町	1,802,500	1,856,001	97.1%
小計	1,802,500	1,856,001	97.1%
東串良町	1,048,405	1,112,343	94.3%
錦江町	1,439,500	1,459,000	98.7%
南大隅町	1,411,100	1,413,500	99.8%
肝付町	3,758,452	2,940,842	127.8%
小計	7,657,457	6,925,685	110.6%
中種子町	1,320,000	1,292,500	102.1%
南種子町	565,600	619,200	91.3%
屋久島町	2,237,845	2,296,090	97.5%
小計	4,123,445	4,207,790	98.0%
大和村	249,500	249,500	100.0%
宇検村	442,200	422,800	104.6%
瀬戸内町	912,865	829,464	110.1%
龍郷町	827,725	876,525	94.4%
喜界町	1,206,000	1,251,600	96.4%
徳之島町	2,174,568	2,172,647	100.1%
天城町	1,107,700	1,112,900	99.5%
伊仙町	776,800	663,310	117.1%
和泊町	1,069,100	982,300	108.8%
知名町	1,069,000	1,054,500	101.4%
与論町	27,600	808,617	3.4%
小計	9,863,058	10,424,163	94.6%
市地区計	162,072,475	159,422,899	101.7%
郡地区計	30,847,287	30,721,420	100.4%
市郡地区計	192,919,762	190,144,319	101.5%
支部	52,817,319	14,798,629	356.9%
地区ＤＭ	17,174,593	9,082,275	189.1%
地区送納書	173,467,609	178,852,806	97.0%
本社	2,277,560	2,220,400	102.6%
合計	245,737,081	204,954,110	119.9%

（４）令和２年度地区・分区別会員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳						令和2年度	令和元年度	増減
	個人					法人	件数	件数	
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A	B	A+B=C	D	C-D
鹿児島市	51,125	360	135	129	51,749	86	51,835	56,048	-4,213
鹿児島地域	*45,064*	*338*	*129*	*127*	*45,658*	*86*	*45,744*	*49,155*	*-3,411*
吉田地域	*949*	*6*	*1*	*1*	*957*	*0*	*957*	*1,044*	*-87*
桜島地域	*1,092*	*0*	*2*	*0*	*1,094*	*0*	*1,094*	*1,265*	*-171*
松元地域	*1,234*	*0*	*0*	*0*	*1,234*	*0*	*1,234*	*1,267*	*-33*
郡山地域	*1,240*	*9*	*1*	*0*	*1,250*	*0*	*1,250*	*1,345*	*-95*
喜入地域	*1,546*	*7*	*2*	*1*	*1,556*	*0*	*1,556*	*1,972*	*-416*
鹿屋市	15,399	207	40	19	15,665	80	15,745	15,912	-167
鹿屋地域	*9,894*	*207*	*39*	*18*	*10,158*	*75*	*10,233*	*10,268*	*-35*
輝北支所	*1,089*	*0*	*0*	*0*	*1,089*	*1*	*1,090*	*1,177*	*-87*
串良支所	*3,087*	*0*	*1*	*0*	*3,088*	*2*	*3,090*	*3,136*	*-46*
吾平支所	*1,329*	*0*	*0*	*1*	*1,330*	*2*	*1,332*	*1,331*	*1*
枕崎市	5,786	47	3	3	5,839	19	5,858	5,879	-21
阿久根市	6,009	3	8	2	6,022	10	6,032	6,071	-39
出水市	11,484	315	17	19	11,835	44	11,879	11,873	6
出水地域	*6,919*	*204*	*13*	*13*	*7,149*	*29*	*7,178*	*7,142*	*36*
野田支所	*1,271*	*101*	*4*	*3*	*1,379*	*6*	*1,385*	*1,388*	*-3*
高尾野支所	*3,294*	*10*	*0*	*3*	*3,307*	*9*	*3,316*	*3,343*	*-27*
指宿市	10,647	326	29	9	11,011	22	11,033	11,466	-433
指宿地域	*5,886*	*148*	*27*	*6*	*6,067*	*20*	*6,087*	*6,498*	*-411*
山川支所	*2,806*	*178*	*1*	*2*	*2,987*	*0*	*2,987*	*3,005*	*-18*
開聞支所	*1,955*	*0*	*1*	*1*	*1,957*	*2*	*1,959*	*1,963*	*-4*
西之表市	2,959	64	2	6	3,031	9	3,040	2,909	131
垂水市	5,134	2	0	1	5,137	7	5,144	5,250	-106
薩摩川内市	25,456	181	23	19	25,679	74	25,753	26,221	-468
川内分区	*17,667*	*2*	*15*	*13*	*17,697*	*66*	*17,763*	*18,136*	*-373*
樋脇分区	*1,773*	*32*	*0*	*5*	*1,810*	*0*	*1,810*	*1,672*	*138*
入来分区	*1,545*	*6*	*5*	*0*	*1,556*	*3*	*1,559*	*1,588*	*-29*
東郷分区	*1,738*	*29*	*0*	*1*	*1,768*	*2*	*1,770*	*1,808*	*-38*
祁答院分区	*1,156*	*0*	*3*	*0*	*1,159*	*3*	*1,162*	*1,189*	*-27*
上甑分区	*832*	*100*	*0*	*0*	*932*	*0*	*932*	*1,048*	*-116*
下甑分区	*745*	*12*	*0*	*0*	*757*	*0*	*757*	*780*	*-23*
日置市	14,944	78	27	7	15,056	0	15,056	15,078	-22
東市来分区	*3,801*	*1*	*2*	*3*	*3,807*	*0*	*3,807*	*3,910*	*-103*
伊集院分区	*6,726*	*65*	*20*	*4*	*6,815*	*0*	*6,815*	*6,648*	*167*
日吉分区	*1,805*	*9*	*0*	*0*	*1,814*	*0*	*1,814*	*1,769*	*45*
吹上分区	*2,612*	*3*	*5*	*0*	*2,620*	*0*	*2,620*	*2,751*	*-131*
曽於市	10,141	104	24	8	10,277	17	10,294	10,616	-322
大隅分区	*2,975*	*43*	*1*	*0*	*3,019*	*4*	*3,023*	*3,117*	*-94*
財部分区	*2,714*	*1*	*5*	*3*	*2,723*	*10*	*2,733*	*2,809*	*-76*
末吉分区	*4,452*	*60*	*18*	*5*	*4,535*	*3*	*4,538*	*4,690*	*-152*
霧島市	24,945	216	47	23	25,231	73	25,304	25,264	40
国分地域	*10,156*	*94*	*19*	*11*	*10,280*	*34*	*10,314*	*10,145*	*169*
隼人分室	*6,168*	*50*	*21*	*8*	*6,247*	*16*	*6,263*	*6,308*	*-45*
溝辺分室	*2,255*	*0*	*1*	*1*	*2,257*	*9*	*2,266*	*2,290*	*-24*
横川分室	*1,397*	*10*	*0*	*0*	*1,407*	*2*	*1,409*	*1,430*	*-21*
牧園分室	*1,974*	*58*	*3*	*0*	*2,035*	*7*	*2,042*	*2,070*	*-28*
霧島分室	*1,200*	*4*	*2*	*1*	*1,207*	*4*	*1,211*	*1,226*	*-15*
福山分室	*1,795*	*0*	*1*	*2*	*1,798*	*1*	*1,799*	*1,795*	*4*
いちき串木野市	7,549	457	3	2	8,011	0	8,011	8,421	-410
南さつま市	8,691	1,721	19	4	10,435	46	10,481	10,742	-261
加世田地域	*4,046*	*1,384*	*3*	*4*	*5,437*	*35*	*5,472*	*5,666*	*-194*
笠沙支所	*644*	*216*	*14*	*0*	*874*	*1*	*875*	*871*	*4*
大浦支所	*719*	*61*	*2*	*0*	*782*	*3*	*785*	*827*	*-42*
坊津支所	*1,076*	*46*	*0*	*0*	*1,122*	*0*	*1,122*	*1,100*	*22*
金峰支所	*2,206*	*14*	*0*	*0*	*2,220*	*7*	*2,227*	*2,278*	*-51*
志布志市	6,747	30	10	8	6,795	53	6,848	7,234	-386
志布志地域	*3,353*	*16*	*3*	*6*	*3,378*	*18*	*3,396*	*3,636*	*-240*
松山支所	*1,181*	*6*	*3*	*0*	*1,190*	*13*	*1,203*	*1,212*	*-9*
有明支所	*2,213*	*8*	*4*	*2*	*2,227*	*22*	*2,249*	*2,386*	*-137*
奄美市	2,155	13	22	7	2,197	109	2,306	3,248	-942
名瀬地域	*673*	*13*	*21*	*6*	*713*	*107*	*820*	*1,516*	*-696*
笠利分区	*1,482*	*0*	*1*	*1*	*1,484*	*2*	*1,486*	*1,732*	*-246*

（４）令和２年度地区・分区別会員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳						令和2年度 件数	令和元年度 件数	増減
	個人					法人			
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A	B	A+B=C	D	C-D
南九州市	8,812	1,025	8	6	9,851	2	9,853	9,623	230
頴娃分区	*710*	*1,018*	*7*	*0*	*1,735*	*0*	*1,735*	*1,693*	*42*
知覧分区	*3,562*	*7*	*1*	*5*	*3,575*	*2*	*3,577*	*3,456*	*121*
川辺分区	*4,540*	*0*	*0*	*1*	*4,541*	*0*	*4,541*	*4,474*	*67*
伊佐市	7,649	191	8	4	7,852	15	7,867	7,941	-74
大口分区	*5,416*	*109*	*3*	*4*	*5,532*	*15*	*5,547*	*5,760*	*-213*
菱刈地域	*2,233*	*82*	*5*	*0*	*2,320*	*0*	*2,320*	*2,181*	*139*
姶良市	8,629	435	30	10	9,104	29	9,133	10,745	-1,612
姶良地域	*2,474*	*280*	*21*	*7*	*2,782*	*14*	*2,796*	*4,201*	*-1,405*
加治木支所	*4,178*	*152*	*9*	*3*	*4,342*	*14*	*4,356*	*4,348*	*8*
蒲生支所	*1,977*	*3*	*0*	*0*	*1,980*	*1*	*1,981*	*2,196*	*-215*
小計	234,261	5,775	455	286	240,777	695	241,472	250,541	-9,069
三島村	27	47	1	0	75	2	77	78	-1
十島村	26	57	5	2	90	4	94	107	-13
小計	53	104	6	2	165	6	171	185	-14
さつま町	6,751	128	9	5	6,893	8	6,901	7,071	-170
小計	6,751	128	9	5	6,893	8	6,901	7,071	-170
長島町	2,923	0	0	2	2,925	7	2,932	2,937	-5
小計	2,923	0	0	2	2,925	7	2,932	2,937	-5
湧水町	3,224	0	0	1	3,225	0	3,225	3,259	-34
小計	3,224	0	0	1	3,225	0	3,225	3,259	-34
大崎町	3,009	288	0	1	3,298	0	3,298	3,387	-89
小計	3,009	288	0	1	3,298	0	3,298	3,387	-89
東串良町	1,729	7	0	1	1,737	16	1,753	1,897	-144
錦江町	2,859	0	0	1	2,860	0	2,860	2,918	-58
南大隅町	2,820	1	0	0	2,821	0	2,821	2,827	-6
肝付町	4,871	60	0	2	4,933	12	4,945	4,956	-11
小計	12,279	68	0	4	12,351	28	12,379	12,598	-219
中種子町	2,454	0	1	0	2,455	5	2,460	2,391	69
南種子町	944	12	1	2	959	1	960	1,036	-76
屋久島町	4,044	77	7	0	4,128	1	4,129	4,458	-329
小計	7,442	89	9	2	7,542	7	7,549	7,885	-336
大和村	458	0	0	1	459	0	459	499	-40
宇検村	658	49	1	1	709	1	710	742	-32
瀬戸内町	1,550	30	0	0	1,580	34	1,614	1,458	156
龍郷町	1,571	5	5	0	1,581	3	1,584	1,682	-98
喜界町	2,204	1	0	0	2,205	10	2,215	2,250	-35
徳之島町	2,306	36	4	5	2,351	52	2,403	2,492	-89
天城町	1,572	0	1	0	1,573	51	1,624	1,616	8
伊仙町	1,211	50	2	0	1,263	1	1,264	1,185	79
和泊町	1,876	39	6	0	1,921	1	1,922	1,845	77
知名町	2,002	18	0	0	2,020	2	2,022	2,094	-72
与論町	0	0	0	0	0	0	0	1,599	-1,599
小計	15,408	228	19	7	15,662	155	15,817	17,462	-1,645
市地区計	234,261	5,775	455	286	240,777	695	241,472	250,541	-9,069
郡地区計	51,089	905	43	24	52,061	211	52,272	54,784	-2,512
地区分区計	285,350	6,680	498	310	292,838	906	293,744	305,325	-11,581
支部	50	27	318	73	468	633	1,101	1,051	50
合計	285,400	6,707	816	383	293,306	1,539	294,845	306,376	-11,531

（５）令和２年度赤十字会員増強運動功労表彰

１２月末までに会費募集目標額を達成し、さらに次の基準を満たす地区・分区・支所等を支部長名で表彰する。

１　当年度の会費等実績額が前年度実績の１０２％以上を達成した地区・分区・支所等

管　　内	地　区・分　区　名	件　数
市　地　区	出水市地区（野田支所、高尾野支所）、指宿市地区（開聞支所）	7
	日置市地区（伊集院分区）、霧島市地区（霧島分室）	
	南九州市地区（知覧分区）、伊佐市地区（菱刈地域）	
北 薩 地 区	長島町分区	1
大 島 地 区	宇検村分区、和泊町分区	2
合　　計		１０

２　その他特に会員募集及び会費等募集に顕著な功績があった地区・分区・支所等

※１，０００円以上１０，０００円未満募集目標件数と法人会員目標件数をそれぞれ１１０％以上達成し、さらに会費目標額を１２５％以上達成

管　　内	地　区・分　区　名	件　数
市　地　区	出水市地区（野田支所）、指宿市地区（山川支所）、	４（1）
	薩摩川内市地区（上甑分区）、南さつま市地区（大浦支所）	
合　　計		４（1）

件数欄の（　　）内は、再掲。

（６）過去５カ年間の種別会員数の推移

種別＼年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		件数	増減	件数	増減	件数	増減	件数	増減	件数	増減
個人	500円以上1,000円未満	323,788	△ 5,049	315,368	△ 8,420	303,246	△ 12,122	296,482	△ 6,764	285,400	△ 11,082
	1,000円以上	10,726	△ 565	9,793	△ 933	9,078	△ 715	8,527	△ 551	7,913	△ 614
	小計	334,514	△ 5,614	325,161	△ 9,353	312,324	△ 12,837	305,009	△ 7,315	293,313	△ 11,696
法人		1,451	163	1,333	118	1,346	△ 13	1,367	21	1,539	172
合計		335,965	△ 5,451	326,494	△ 9,471	313,670	△ 12,824	306,376	△ 7,294	294,852	△ 11,524

（７）令和２年度一般社資金額別内訳一覧表

1件あたり金額＼内訳		一般社資		個人住民税に関する指定事業社資		合計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	3	34,100,000	0	0	3	34,100,000
2	50万円以上100万円未満	2	1,020,000	0	0	2	1,020,000
3	20万円以上50万円未満	2	500,000	2	500,000	4	1,000,000
4	10万円以上20万円未満	18	1,820,000	4	400,000	22	2,220,000
5	5万円以上10万円未満	25	1,413,495	0	0	25	1,413,495
6	3万円以上5万円未満	31	940,000	0	0	31	940,000
7	1万円以上3万円未満	296	3,458,807	0	0	296	3,458,807
8	5千円以上1万円未満	231	1,359,558	0	0	231	1,359,558
9	1千円以上5千円未満	7,292	8,127,095	0	0	7,292	8,127,095
10	500円以上1千円未満	285,400	142,723,956	0	0	285,400	142,723,956
11	500円未満	82,428	17,930,071	0	0	82,428	17,930,071
社資合計		375,728	213,392,982	6	900,000	375,734	214,292,982

（８）令和２年度法人社資金額別内訳一覧表

1件あたり金額＼内訳		指定事業社資		その他法人社資		合計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	0	0	2	11,000,000	2	11,000,000
2	50万円以上100万円未満	1	500,000	2	1,000,000	3	1,500,000
3	20万円以上50万円未満	2	500,000	4	1,100,000	6	1,600,000
4	10万円以上20万円未満	8	800,000	23	2,453,720	31	3,253,720
5	5万円以上10万円未満	0	0	53	2,731,944	53	2,731,944
6	2万円以上5万円未満	0	0	95	2,424,382	95	2,424,382
7	1万円以上2万円未満	0	0	626	6,340,574	626	6,340,574
8	5千円以上1万円未満	0	0	357	1,835,227	357	1,835,227
9	1千円以上5千円未満	0	0	325	737,122	325	737,122
10	500円以上1千円未満	0	0	29	18,231	29	18,231
11	500円未満	0	0	12	2,899	12	2,899
合計		11	1,800,000	1,528	29,644,099	1,539	31,444,099

（９）日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿（敬称略）　※順不同

◎日本赤十字社の表彰（章）

日本赤十字社感謝状　７件（不掲載希望者　１件含む）

・弓場　秋信（鹿児島市）
・宇都　忠良（出水市）
・株式会社　肥後産業（鹿児島市）
・三洋ハウス　株式会社（鹿児島市）
・大口酒造　株式会社（伊佐市）
・長島研醸　有限会社（出水郡長島町）

金色有功章　12 件

・大山　大宏（鹿児島市）
・株式会社　下堂園（鹿児島市）
・株式会社　小園硝子商会（鹿児島市）
・株式会社　冨迫組（鹿児島市）
・医療法人　腎愛会　上山病院（鹿児島市）
・株式会社　新生社印刷（鹿屋市）
・キャタリストリサーチ　株式会社（出水市）
・株式会社　今林会計（指宿市）
・坪山建設　有限会社（志布志市）
・奄美建設業協会（奄美市）
・有限会社　岩掃（姶良市）
・大村建材　株式会社（大島郡徳之島町）

銀色有功章　36 件　（不掲載希望者　４件を含む）

・島本　保子（鹿児島市）
・船脇　恵子（鹿児島市）
・内鏡原　優（鹿屋市）
・山下　由紀子（霧島市）
・市田　佳朗（姶良市）
・公益社団法人　鹿児島県歯科医師会（鹿児島市）
・公益社団法人　鹿児島市薬剤師会（鹿児島市）
・三洋工機　株式会社（鹿児島市）
・株式会社　真愛デイケア設備（鹿児島市）
・社会福祉法人　向陽会（鹿児島市）
・肝付吾平町農業協同組合（鹿屋市）

・株式会社　鹿栄電設（鹿屋市）
・枕崎商工会議所（枕崎市）
・医療法人　互舎会　脇本病院（阿久根市）
・株式会社　福尚（指宿市）
・株式会社　文友社（薩摩川内市）
・医療法人　松翠会　森園病院（薩摩川内市）
・株式会社　タグチ木材建材センター（曽於市）
・有限会社　九面屋（霧島市）
・株式会社　三栄（霧島市）
・医療法人　南洲会　南洲整形外科病院（いちき串木野市）
・株式会社　池﨑建設（志布志市）
・株式会社　堀口園（志布志市）
・有限会社　中山信商店（志布志市）
・共栄開発工業　株式会社（奄美市）
・名瀬港運　株式会社（奄美市）
・社会福祉法人　奄美市社会福祉協議会職員一同（奄美市）
・有限会社　徳留組（肝属郡南大隅町）
・THE HOTEL YAKUSHIMA OCEAN&FOREST（熊毛郡屋久島町）
・株式会社　峰山建設（大島郡喜界町）
・株式会社　作山建築設計事務所（大島郡徳之島町）
・株式会社　名越建設（大島郡天城町）

10　医　療　事　業



鹿児島赤十字病院は、公的病院として地域医療の進展に貢献していくため、一般病床１２０床をベースに災害時の医療救護、離島・へき地医療への取り組みはもとより、リウマチ・膠原病、関節・脊椎整形外科、脳神経外科領域を主とする急性期医療など、各診療科領域において特色ある専門的かつ高度な医療の適切な提供に取り組み、その使命と役割を果たしている。

これらの医療活動を円滑に展開していくため、医師・看護師等人材の確保や医療機器・設備の改善とともに地域医療連携の一層の推進等を図りつつ、平均在院日数の短縮，病床稼働率の改善・向上など引き続き経営収支の改善と安定化に取り組むこととともに、医療サービスの質的向上・効率的提供や患者サービスの向上に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応については、緊急事態宣言下の令和２年４月末に、県から患者受入れの体制整備について要請があり受け入れの準備を開始した。その後、患者や職員を感染から守るという観点から１病棟を新型コロナ専用病床として確保し、鹿児島市でクラスターが発生した直後の７月７日より新型コロナ患者の受入れを開始した。

また、同年１０月の県病床確保計画に基づき、受入れ可能な患者数を３名から９名に増やし、新型コロナウイルス感染症重点医療機関に正式指定された。令和３年３月３１日までに、延５４人の患者を受入れ、現在も継続して受入れている。

さらに、宿泊療養所や医療機関に延１９１人の職員を派遣し、新型コロナウイルス感染症の治療及び感染拡大防止等のための活動に取り組んだ。

（１）一 般 医 療

ア　診療科目　　９診療科
〔内科・リウマチ科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・
脳神経外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科〕

イ　診療日　月曜日～金曜日（緊急時はこの限りではありません）

ウ　診療実績

① 入院患者数

鹿児島赤十字病院は、昭和５５年以降、結核病床主体から一般病床へのシフト化とともに、特定疾患としてリウマチ膠原病や骨粗しょう症、生活習慣病対策に取り組み、更に、関節・脊椎を主体とする整形外科を導入するなど予防・診断・治療からリハビリテーションまでの包括的医療体制を整備してきた結果、一般患者の診療圏が県内全域に及ぶようになった。

更に、平成１５年７月に脳神経外科、平成１６年３月には麻酔科、平成２５年１月には循環器内科を設置し、救急の受入れや手術への対応など診療活動の拡充に努めている。

なお、令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響もあり、入院患者延数は２７，９７１人で、前年度より７，４８０人少ない２１．１％減となった。

〔診療科別入院患者数〕　（単位：人）

区　分	令和２年度				令和元年度				比較(R2-R1)		
種　別	在院延数	退院	患者延数[在院+退院]	1日平均患者数	在院延数	退院	患者延数[在院+退院]	1日平均患者数	在院延数	患者延数[在院+退院]	1日平均患者数
内　科	1,758	142	1,900	5.2	1,999	116	2,115	5.8	Δ241	Δ215	Δ0.6
リウマチ科	10,312	738	11,050	30.3	13,421	1,121	14,542	39.7	Δ3,109	Δ3,492	Δ9.5
整形外科	11,212	633	11,845	32.5	14,092	698	14,790	40.4	Δ2,880	Δ2,945	Δ8.0
脳神経外科	2,982	194	3,176	8.7	3,770	234	4,004	10.9	Δ788	Δ828	Δ2.2
合　計	**26,264**	**1,707**	**27,971**	**76.6**	**33,282**	**2,169**	**35,451**	**96.9**	**Δ7,018**	**Δ7,480**	**Δ20.3**
			病床稼働率	63.9%			病床稼働率	80.7%		病床稼働率	Δ16.8%

② 外来患者数

外来患者数は、３５，１８６人で、前年度より２７０人多い０．８％増となった。

〔診療科別外来患者数〕　（単位：人）

区　分	令和２年度	令和元年度	比較(R2-R1)	
			増減(人)	前年比(%)
内　科	5,430	5,606	Δ176	96.9
リウマチ科	15,168	14,547	621	104.3
整形外科	9,894	9,928	Δ34	99.7
呼吸器内科	355	435	Δ80	81.6
脳神経外科	3,286	3,376	Δ90	97.3
循環器内科	1,053	1,024	29	102.8
合　計	**35,186**	**34,916**	**270**	**100.8**

【参考】市町村別入院・外来患者数　（単位：人）

市町村	患者数		市町村	患者数		市町村	患者数	
	入院	外来		入院	外来		入院	外来
鹿児島市	11,910	19,557	奄美市	34	12	南種子町	0	15
鹿屋市	618	511	南九州市	2,186	3,194	屋久島町	153	72
枕崎市	1,373	1,336	伊佐市	155	121	大和村	0	0
阿久根市	68	151	姶良市	732	310	宇検村	0	0
出水市	287	163	三島村	14	7	瀬戸内町	0	21
指宿市	3,313	4,448	十島村	19	62	龍郷町	42	6
西之表市	183	70	さつま町	235	140	喜界町	31	0
垂水市	153	198	長島町	108	47	徳之島町	14	12
薩摩川内市	665	606	湧水町	3	25	天城町	77	10
日置市	487	830	大崎町	86	63	伊仙町	0	8
曽於市	14	46	東串良町	23	20	和泊町	35	19
霧島市	791	253	錦江町	58	30	知名町	54	14
いちき串木野市	332	360	南大隅町	76	41	与論町	115	8
南さつま市	1,111	1,785	肝付町	20	84	県　外	253	351
志布志市	387	89	中種子町	49	91	計	**26,264**	**35,186**

※入院患者数は在院延数で記載

③実習生受け入れ状況

受入担当部	期間	実習生数	実習項目	実習依頼校
整形外科部	第2・4週目の水曜日	5名	ポリクリ実習	鹿児島大学医学部５年・６年生
リハビリテーション科部	7/27～8/21	2名	理学療法(4年)	鹿児島大学医学部保健学科
	8/17～9/26	2名	作業療法（4年）	鹿児島大学医学部保健学科
	2/25～2/27（中止）	2名	理学療法見学(1年)	鹿児島大学医学部保健学科
看護部	6/15～7/2	10名	成人・老年看護学実習Ⅱ	鹿児島医療技術専門学校４年
	6/22～7/8	4名	基礎看護学実習	医療法人協会立看護専門学校２年
	8/31～9/18	10名	統合実習	鹿児島医療技術専門学校４年
	10/5～10/22	5名	成人・老年看護学実習	医療法人協会立看護専門学校３年
	11/2～11/19	5名	成人・老年看護学実習Ⅰ	鹿児島医療技術専門学校３年
	1/18～2/5	5名	成人・老年看護学実習Ⅰ	鹿児島医療技術専門学校３年
	7/6～7/17（中止）	8名	統合実習	鳳凰高校専門課程２年生
	9/28～10/9（中止）	8名	成人・老年看護学実習	鳳凰高校専門課程２年生
地域医療連携室	なし			

（２）医療救護活動

赤十字病院の特徴として、台風や地震などの災害、事故などへの災害救護活動を使命としていることである。災害発生度の高い本県の気象条件、地理的特徴に鑑み、災害時に医師・看護師等を速やかに派遣し、その機能が十分発揮できるよう、常備救護班の整備や災害救護訓練に積極的に参加するなど、緊急時に備えるとともに、発災時においては積極的な医療救護班の派遣に努めている。平成21年度鹿児島県DMAT指定病院に指定。

令和２年度の下記訓練・研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により、そのほとんどが中止となった。

ア　医療救護活動

期日	日数	場所	内容	派遣職員
7月から継続中	延344	鹿児島県庁	鹿児島県医療調整チーム活動	医師1、調整員1
7月13日から継続中	延191	鹿児島市他	宿泊療養所活動、医療機関への支援	看護師
8月4日～6日	3	南さつま市加世田	青少年赤十字トレセン（小学校）救護	中止
8月4日～6日	3	南さつま市加世田	青少年赤十字トレセン（中学校）救護	中止
8月18日～20日	3	南さつま市加世田	青少年赤十字トレセン（高等学校）救護	中止
8月22日	1	鹿児島港本港区	錦江湾サマーナイト大花火大会救護	中止
3月7日	1	鹿児島市	かごしまマラソン2021救護	中止

イ　災害救護訓練・研修

期日	日数	場所	内容	派遣職員
5月16日～17日	2	日赤本社	日赤災害医療コーディネーター研修（1回目）	中止
5月17日	1	奄美市	県総合防災訓練	中止
6月12日	1	日赤県支部	こころのケア研修会	中止
6月19日～21日	3	本社	全国救護班研修会	中止
8月	2	鹿児島市	県ＤＭＡＴ隊員養成研修	中止
9月19日～20日	2	日赤本社	日赤災害医療コーディネーター研修（2回目）	中止
9月26日	1	日赤県支部	救護員基礎研修（1日目）	中止
9月29日	1	鹿児島市	鹿児島市多数傷病者事故対応訓練	中止
10月3日	1	日赤県支部	救護員フォローアップ研修	中止
10月3日	1	日赤県支部	救護員基礎研修（2日間）	中止
10月10日～11日	2	鹿児島市	日本ＤＭＡＴ九州沖縄ブロック実働訓練	中止
10月20日	1	霧島市	航空機事故消火救難総合訓練	情報伝達訓練のみ
11月14日	1	鹿児島市(桜島)	桜島火山爆発総合防災訓練(住民避難訓練)	6名（医師1、看護師3、主事2）
11月29日～30日	2	宮崎県	九州ブロック支部合同災害救護訓練	中止
12月11日	1	Ｗｅｂ開催	第1回原子力災害医療アドバイザー会議	医師1、放射線技師1
12月12日～13日	2	日赤本社	日赤災害医療コーディネーター研修（3回目）	中止
2月6日	1	姶良市蒲生	原子力防災訓練	中止

（３）へき地医療


離島からの患者ヘリ搬送


遠隔医療(TV 会議)システム
による診察

ア　へき地医療拠点病院事業

鹿児島赤十字病院は、昭和５６年４月１日から鹿児島広域市町村圏のへき地中核病院として県の指定を受け離島・へき地医療に携わってきたが、へき地中核病院の再編成により平成１４年７月１日にへき地医療拠点病院として指定を受け県から４人の派遣医師を受入れ、離島・へき地診療所への医師の派遣及び巡回診療に取り組んでいる。

なお、三島村は平成１２年１０月から、十島村の上四島は平成１４年４月からそれぞれ医師１人の常駐化を図っているが、へき地診療所で対応困難な緊急を要する患者を、ヘリコプター（県消防防災ヘリ、鹿屋自衛隊ヘリ）で搬送する体制にも添乗医師として協力している。併せて、離島職員・患者と当院にいる医師が双方向でやりとりする遠隔医療(TV会議)システムを活用し、迅速な対応に努めている。

また，平成１７年４月から特定診療料（眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科）巡回診療が県から移管され、大学病院，県医師会の協力を得て、県内専門医不在市町村に医師・看護師等の派遣及び巡回診療を行った。

さらに、へき地医療拠点病院医師派遣事業の一環として、へき地診療所等に代診医師の派遣を行なった。

①三島村・十島村医師等派遣

地　区	診療所数	医師派遣 延日数	看護師派遣 延日数	延受診者数	医師添乗ヘリコプター 急患搬送回数
三島村	4 診療所	123.0	0.0	1,799	4 回
十島村	7 診療所	277.0	17.0	1,568	12 回
計	**11 診療所**	**400.0**	**17.0**	**3,367**	**16 回**

②特定診療科巡回診療

	実　施 市町村	地区	派遣延日数（日）				受診者延数（人）			
			医師	看護師	その他	計	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	計
1	屋久島町	口永良部島	6.0	4.0	6.0	16.0	8	8	18	34
2	薩摩川内市	甑島３島	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0
3	三島村	全３島	9.0	6.0	6.0	21.0	8	30	29	67
4	十島村	全７島	27.0	18.0	9.0	54.0	174	173	174	521
計			**42.0**	**28.0**	**21.0**	**91.0**	**190**	**211**	**221**	**622**

イ　へき地医療拠点病院医師派遣事業（代診医師）

派遣日	派遣先	派遣医師数(人)
2/17～19	薩摩川内市鹿島診療所	1


特定診療科の巡回診療

（４）保健衛生事業

ア　保健衛生事業への協力

①へき地における住民検診・赤十字講習会等

事　業　名	実施地区	実施人員(人)		対前年比(%)
		令和元年度	令和２年度	
住民健(検)診及び健康診断	三島村(4 地区)	448	703	156.9%
	十島村(7 地区)			
予　防　接　種	三島村(4 地区)	812	567	69.8%
	十島村(7 地区)			
赤十字救急法講習会及びＡＥＤ講習	三島村(4 地区)	209	53	25.4%
	十島村(7 地区)			
特 定 健 康 診 査	三島村(4 地区)	174	382	219.5%
	十島村(7 地区)			
計		1,643	1,705	103.8%

②生活習慣病予防健診　（単位：人）

年度／種類	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
一 般 健 診	402	413	455	422	339
人 間 ド ッ ク	84	84	69	58	66
脳 ド ッ ク	102	108	86	73	76
計	588	605	610	553	481

（５）相談援助・地域連携

ア　相談援助事業

内容	件数	内容	件数
家族関係に関すること	18　件	転院に関すること	1,144　件
在宅介護・地域生活に関すること	1,346　件	他施設利用に関すること	91　件
療養生活に関すること	1,139　件	心理・情緒的問題に関すること	16　件
経済的問題に関すること	21　件	他福祉関係利用に関すること	64　件
就労・職場環境に関すること	4　件	その他（カンファレンス・回診等）	211　件
就学・教育環境に関すること	0　件		件
虐待・暴力・人権に関すること	2　件		件
受診・受療に関すること	2,602　件	合計	6,658　件

イ　居宅介護支援事業〔ケアプラン作成〕

（単位：件，％）

		ケアプラン作成件数												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延件数
鹿児島市	令和元年度計	22	25	27	25	26	27	26	27	26	26	26	25	309
	令和２年度計	24	23	24	24	23	23	20	20	19	22	21	24	267
鹿児島市外	令和元年度計	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	8
	令和２年度計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	令和元年度計	23	25	27	25	26	28	27	28	27	27	27	26	316
	令和２年度計	25	24	25	25	24	24	21	21	20	23	22	25	2790
	対前年度比	108.7	96.0	92.6	100	92.3	85.7	77.8	75.0	74.1	85.2	81.5	96.2	88.3

11　血　液　事　業

令和２年度は、血液事業においても新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受けた。5 月 31 日までに全国で約 4,000 団体からの献血協力への辞退の申し出があり、それ以降も移動採血の稼働は困難な状況が続いている。

血液事業は国民の信頼のうえに成り立っている事業であり、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（血液法）」に基づき、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液製剤の供給を使命としている。同法においては、輸血用血液製剤の国内自給を基本理念とし、血液事業の実行にあたっては、国、都道府県及び市町村、採血事業者、血液製剤の製造販売業者等、医療関係者等の各々の役割と責任が明確化されている。

また、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」に基づき、輸血用血液製剤の品質や安全性の確保を行っている。

日本赤十字社では、血液事業の運営体制について血液製剤の更なる「安全性の向上」と「安定供給の確保」、また、国民に信頼される効率的で持続可能な事業運営体制の確立を目的に、平成 24 年 4 月より従来の各都道府県の血液センター単位による事業運営体制から全国を 7 ブロックに分けたブロック単位での広域的な事業運営体制を開始した。これまで九州各県で行っていた献血された血液の検査と輸血用血液製剤の製造は、九州ブロック血液センターで一括して行うこととなった。

献血血液の約半分は輸血用血液製剤として輸血に使用され、残りの半分は血漿分画製剤という医薬品の原料となる。全国的にみると、輸血用血液製剤の需要としては減少傾向がみられる一方で、血漿分画製剤の原料としての需要は、免疫グロブリン製剤の使用の拡大に伴い、大幅に増大している。鹿児島県では令和 2 年度の目標献血者数 65,198 人に対して、65,015 人（対前年度比 100.7%）の方々に献血のご協力をいただいた。一方で同年度に、鹿児島県内の医療機関に供給された輸血用血液製剤は、200mL 献血由来が 841 本、400mL 献血由来が 57,242 本、成分献血由来が 13,785 本の合計 71,868 本（対前年度比 101.8%）となった。

鹿児島県赤十字血液センターでは、従来行ってきた若年層を中心とした献血の普及・啓発や献血の社会的重要性の認知度向上に向けた広報活動に加えて、コロナ禍における必要血液量の確保対策として、事業環境の変化を踏まえた献血推進方策の確立や献血予約制の推進を行っている。また、離島を数多く有する血液センターとして、地域の医療機関にとって安心・安全な血液供給体制を築くための努力の継続に加えて、新たな血液製剤発注システムの利用促進や血液製剤の定時配送体制の確立を進めることとしている。

（1）採血・供給実績

ア 献血者数

（単位:人）

区　分	２００ｍＬ	４００ｍＬ	成　分	合　計
血液センター	48	5,550	9,853	15,451
献血ルーム	91	4,736	8,512	13,339
献血バス	134	36,091	0	36,225
合　計	273	46,377	18,365	65,015
構成比	0.4%	71.3%	28.3%	100.0%
対前年度比	87.5%	97.4%	110.2%	100.7%

イ センター供給本数

（単位:本）

区　分	200mL由来	400mL由来	成分由来	合　計	200mL換算	対前年度比
全血製剤	0	0		0	0	0.0%
赤血球製剤	630	47,915		48,545	96,460	99.4%
血漿製剤	211	9,327	2,298	11,836	28,057	97.1%
血小板製剤			11,487	11,487	113,620	105.2%
合　計	841	57,242	13,785	71,868	238,137	101.8%
構成比	1.2%	79.6%	19.2%	100.0%		

※センター供給本数＝血液センター、鹿屋及び川内出張所の3施設から供給された合計本数

（２）献　血　推　進

献血の推進は、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、国及び地方公共団体の責務とされ、国及び地方公共団体が、毎年献血推進計画を策定することとなっている。一方、血液センターは、採血事業者として献血受け入れの推進を行わなければならないとされている。

医療に必要な血液の確保は、県民一人ひとりの献血運動に対する理解と協力に支えられているが、特に、少子高齢化が進む中、若年層の献血者確保に重点をおき、三者一体となった推進が必要である。

血液製剤の安定確保のため、４００ｍＬ献血及び成分献血の推進強化に努めるとともに、県民へ献血思想の普及啓発を図るため、県・市町村献血推進協議会及び各種団体の協力を得て、下記の事業を実施した。

◎６月５日　　「市町村・保健所献血推進主管課長及び担当者会議」（書面開催）

血液製剤の安全性向上と安定供給を図るための基本方針や、最近の献血、輸血用血液製剤の供給状況や安全対策等について資料配付した。

◎７月１日
～３１日　　「愛の血液助け合い運動月間」

長期休暇などにより学校や企業、団体から献血へのご協力が得られにくい夏季の輸血用血液の安定供給を図るため、厚生労働省・都道府県・日本赤十字社の主催により、毎年７月１日から１か月間にわたり全国各地で献血推進キャンペーンを実施している。

当県では、７月４日(土)に献血推進街頭キャンペーンを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

◎１０月３０日　　「ライオンズクラブ献血推進セミナー」

献血協力、推進等に大きな役割を果たしていただいている県内ライオンズクラブの役員、会員の方々を中心に更なる血液事業への理解と相互の情報交換を目的とした「献血推進セミナー」を開催した。

セミナーでは、県内の血液事業について説明を行うとともに、各クラブの活動状況報告等を行い、今後の取組みについて対策等を協議した。

◎１２月１０日　「学生クリスマス献血キャンペーン２０２０」

～１２月２０日　全国学生クリスマス献血キャンペーンの一環として、鹿児島県学生献血推進協議会の主催により、県内４か所（鹿児島大学・鹿児島国際大学・志學館大学・イオンモール鹿児島）において実施した。

協賛企業・団体からのプレゼントによる抽選会、お菓子やドリンクサービスなど献血者が楽しめる企画を展開し、合計１８５名の方々に献血のご協力をいただいた。





◎１月１日　「はたちの献血キャンペーン」

～２月２８日　成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方々を中心に、献血について理解を深めていただき、冬季における輸血用血液の安定供給を図るため、テレビやラジオＣＭ、ポスター掲示等の広報を行うなど、成人の日を含む１月から２月の２カ月間全国的に展開している。

当県では、１月１０日（日）天文館ベルク広場において、街頭キャンペーンを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

◎１月１１日　「ＭＢＣラジオ献血ウィーク」

～１月２２日　県民の方々に献血に対する理解を深めていただくため、１月１１日（月）から２２日（金）の１２日間を「ＭＢＣラジオ献血キャンペーン」として設定し、キャンペーンを実施した。期間中、ラジオで献血に関する広報を行い、２，１８７名の方々にご協力いただいた。

◎２月１４日　「バレンタイン献血」

鹿児島県学生献血推進協議会が主催し、同年代の若年層を中心とした“献血の輪”を広げること、また、冬季はインフルエンザ等の流行により献血協力が得られにくいことから、輸血用血液の確保を目的として平成１５年度より、毎年バレンタインデーの時期に合わせ実施している。

令和２年度は、イオンモール鹿児島において献血のお礼としてお菓子の詰め合わせを差し上げて、献血強化を図った。

◎３月１４日　　「ホワイトデー献血」

鹿児島県学生献血推進協議会が主催し、同年代である若年層への献血の呼びかけと感謝の気持ちを献血者に直接伝えることを目的として平成２４年度より実施している。

令和２年度は、イオンモール鹿児島において献血のお礼としてチョコレートを差し上げて、献血強化を図った。

◎３月２０日　　「μＦＭ献血ウィーク！」

～３月３０日　　献血者確保が特に難しい時期である年度末、μＦＭリスナーへ２，０００名の献血目標を呼びかけるキャンペーンを実施した。

μＦＭに血液センター職員や学生献血推進協議会メンバーが出演し、継続的・定期的な献血を呼びかけた。

（３）献血受入・献血予約の推進

当県の固定施設である「献血プラザかもいけクロス」及び「献血ルーム天文館」においては、成分献血を中心とした献血者の確保と４００ｍＬ献血の推進に努めた。

一方、献血バスにおいては、医療機関からの要請に合わせた献血者確保を行うため、採血調整検討会を毎月開催し、配車計画の調整を行った。また、安全な献血者を安定的に確保するために設置された複数回献血クラブ「ラブラッド」の会員募集を強化し、献血予約の推進を行った。

なお、九州ブロック内における各県の採血調整を行い効率的・安定確保を図るため、「九州ブロック需給計画検討部会」を開催している。

そのほか、イベントやキャンペーンを実施し、広く県民に献血思想の普及と血液事業への理解を求めるため、広報活動を実施した。

複数回献血クラブ(ラブラッド)登録者数　（人）

平成３０年度	令和元年度	令和２年度
6,058	9,802	14,583

（４）供　給　体　制

医療機関からの血液要請に対して、受注から出庫・供給までの業務が円滑に行われるよう手順の再確認を行い、関連する法令を遵守しつつ、業務が適切に図られるように教育訓練を徹底した。

また、各医療機関との情報交換及び連携強化を図り、確実且つ迅速な供給業務に努めるとともに、供給予測の強化を図り、有効利用の推進及び期限切れの抑制に努めた。

供給体制については、血液センター及び鹿屋・川内両出張所から、品質管理の行き届いた輸血用血液製剤を、鹿児島県内全医療機関に安全・迅速且つ確実に直接供給する体制を強化し定時配送率８０％以上の目標値を達成できた。

医療機関からの血液製剤の発注については、令和２年１１月から新ＷＥＢ発注システムの運用が開始され、医療機関のＷＥＢ発注システム登録の強化を実施した。令和３年度は医薬情報担当者と協力しＷＥＢ発注率の向上に努めることとする。

（５）医 薬 情 報 活 動

県薬務課及び鹿児島県合同輸血療法委員会と連携し、医療機関の輸血管理部門や輸血実施部門等に対し研修会を実施し、安全な輸血を行うための情報提供及び支援をし、受血者の安全性向上に努めた。

また、主要な医療機関へは院内の輸血療法委員会等に参加し、安定供給にかかる需要動向の把握、医療機関情報を積極的に収集した。

有害事象等の収集に努め、販売後安全管理業務を迅速に行った。

（６）鹿児島県合同輸血療法委員会への協力

厚生労働省令和２年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業「鹿児島県に存在する様々な規模の離島における安心・安全で適正に血液製剤を使用する方策に関する研究」に協力した。

（７） 骨髄バンク事業

骨髄提供者の受付及び登録業務を行い、データ管理に万全を期すとともに、献血併行型骨髄バンクドナー登録会への協力に努めた。

（人）

登録者受付数（新規）	227
登録取消者数	253
累計登録者数	4,690
（前年度末累計登録者数）	4,716

（８）献血功労者表彰

令和２年６月24日に北海道にて開催が予定されていた「第56回献血運動推進全国大会」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止されたが、献血功労者（鹿児島県関係）として次の団体が受賞された。

［厚生労働大臣表彰状］（２団体）

・マルイ農業協同組合
・山形屋商事株式会社

［厚生労働大臣感謝状］（６団体）

・医療法人徳洲会　沖永良部徳洲会病院
・独立行政法人国立病院機構　南九州病院
・株式会社サクラクレパス　鹿児島工場
・伊佐市医師会立准看護学校
・医療法人至誠会　中村温泉病院
・医療法人共生会

12　社　会　福　祉　事　業

特別養護老人ホーム錦江園は、ユニット型施設として指定介護老人福祉施設事業（８０床）と短期入所生活介護事業（２床）の事業を行っている。

令和２年度においても、入居希望者の円滑な入居を進めるため、入居検討委員会を定期的に開催した他、介護保険における各種加算項目の算定要件に適切に対応しながら経営の安定に努めた。並行して新型コロナウイルス感染症対策を実施。その一環として入居者との面会を中止したが､令和２年 10 月からアクリル板越しでの面会を再開した。入居者や職員はコロナワクチンを令和３年６月までに接種する予定となっている。







懸案となっている介護職員の処遇についても､「介護職員処遇改善加算」や「特定処遇改善加算」による賃金の引き上げを行い、人材の確保に努めた結果、大きな欠員を生じることなくサービスの提供を行うことができた。

なお、社会福祉事業の財源である介護保険事業収入は４１３，０６１千円となり、令和元年度の決算額３９８，３２３千円と比較すると１４，７３８千円の増収となった。



入居者の介護にあたっては、一人ひとりの個性や生活リズムに沿ってサービスを提供し、施設あっても自宅での生活を継続できるよう支援した他、入居者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう支援した。

さらに、鹿児島赤十字病院や歯科医療機関等の協力をいただき、入居者の健康管理、口腔ケアに努めた。

（１）指定介護老人福祉施設事業

令和２年度の施設介護料収入は、各種加算の取得や入居率の向上、入院延べ日数の大幅な改善により、前年度より８，６２５千円増の３０４，９０５千円となった。

＜利用状況＞

	定員数（人）	総日数（日）	延べ数（人）	入居率（%）
令和２年度	８０	２９，２００	２８，４１６	９７．３
令和元年度	８０	２９，２８０	２８，１７９	９６．２

※総日数＝３６５日（１年間）×定員数

＜入退居者の状況＞　（単位：人）

区　分	入　居	退　所	死　亡
令和２年度	８	３	５
令和元年度	２２	５	１７

＜入院の状況＞　（延べ日数）

	４月 ～６月	７月 ～９月	１０月 ～１２月	１月 ～３月	計
令和２年度	１１６	９２	２９３	２７５	７７６
令和元年度	３１７	２２７	２７２	２３６	１，０５２

＜要介護度の状況＞　（年度末時点）

要介護度	１	２	３	４	５	計	平均介護度
令和２年度	０	１	９	２７	４３	８０	４．３３
令和元年度	１	０	１４	３３	３２	８０	４．１９

（２） 短期入所生活介護事業

令和元年度の居宅介護料収入は、利用率の大幅な改善や平均介護度の上昇により、前年度より１，６３９千円増の６，００８千円となった。

＜利用状況＞

	定員数（人）	総日数（日）	延べ数（人）	利用率（%）
令和２年度	２	７３０	７０３	９６．３
令和元年度	２	７３２	６６６	９１．０

※総日数＝３６５日（１年間）×定員数（２名）

＜利用者数・要介護度の状況＞ （年度末時点）

要介護度	1	2	3	4	5	計	平均介護度
令和２年度	0	0	4	0	3	7	４．３８
令和元年度	0	0	1	3	4	8	４．３７

（３） 入居者へ質の高いサービスの提供

・例年は集合形式で職場内研修を毎月開催している。本年度はコロナ禍のため、集合形式での研修を中止することが多かった。一方で、研修資料の回覧を行い職員の資質の向上と職業倫理の徹底を図った。
・外部で開催される各種の研修会に職員を６回派遣し、延べ 16 名の職員が参加した。
・職場内研修を充実させるため「感染症等発生予防研修会」は外部から講師を招いて行った。
・「サービス担当者会議」等の各種会議、「感染症等対策委員会」、「介護事故防止検討委員会」、「身体拘束適正化検討委員会」等の各種委員会を文書による審議で行い、職種間の緊密な連携による質の高いサービスの提供に努めた。
・鹿児島赤十字病院と提携し、週１回の回診を行うことで入居者の健康管理に努めた。
・協力歯科医療機関の歯科医師から入居者の口腔ケアに係る技術的助言や指導を受け、経管栄養食から経口摂取への移行や入居者の口腔機能を維持管理するための口腔ケアに努めた。
・入居者の情緒の安定を図るため、各ユニットでの催し物（流しそうめん、カレー作り等）やコスモス畑への園外散策を実施した。



（コスモス畑散策）



（感染症等発生予防研修会）



（そうめん流し）



（カレー作り）

（４） 入居者の安全対策・環境整備

・防災安全委員会を年４回開催した他、防火避難訓練や災害対応研修会を実施し、防災対策および防災意識の向上に努めた。



（防火避難訓練）

（５） ボランティアの受入れと地域との連携

・例年、多数のボランティアを受け入れ、入居者やその家族、地域住民との交流を図っているが、本年度はコロナ禍のため、ボランティアの受け入れはできなかった。

・例年、「平川町づくり協議会」に参加し地域との連携や交流拡大に努めているが、本年度はコロナ禍のため参加を見送った。

（６） 実習生の受入れ

・障がい者就労支援センター利用者の労働実習（清掃作業）を受け入れ、障がい者雇用を図った。

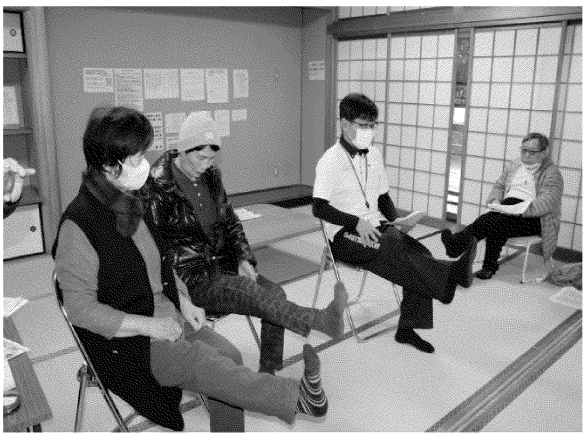
＜実習生の受け入れ状況＞

区　分	団　体　・　養　成　校　等	人員	延日数
労働実習	就労支援センターハーモニー（１名）	１名	１０日
合　　計		１名	１０日

（７）地域貢献活動について

・地域に信頼され開かれた福祉施設を目指して、生活習慣病予防講座の出前講座を行った。

・台風接近時の避難先として施設を開放し、地域住民の受け入れを行った。



（健康生活支援講習）



（台風避難者の受け入れ）

（８） 広報活動について

・ホームページを随時更新し、地域や一般市民に対して必要な情報を提供した。

（９） その他

・鹿児島県赤十字有功会からアルミ多機能車椅子２台、錦江園家族会からティルト・リクライニング車椅子１台、フレックスボード１枚を寄贈していただいた。

（ 参　考 ）

令和２年度における入居者の状況（令和３年３月３１日現在）

（ア）出身市町村別、年齢別の状況　　（単位：人）

年齢／出身地	性別	65歳～69歳	70歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計	合計
鹿児島市	男	0	3	5	1	3	1	0	13	67
	女	1	4	6	9	19	13	2	54	
南九州市	男	0	1	0	0	0	0	0	1	4
	女	0	0	1	0	2	0	0	3	
指宿市	男	0	0	1	0	0	0	0	1	2
	女	0	0	0	1	0	0	0	1	
南さつま市	女	1	0	0	0	1	1	0	3	3
枕崎市	女	0	1	0	0	0	0	0	1	1
垂水市	女	0	0	0	0	1	0	0	1	1
中種子町	男	0	0	0	1	0	0	0	1	1
十島村	女	0	0	0	0	1	0	0	1	1
計	男	0	4	6	2	3	1	0	16	８０
	女	2	5	7	10	24	14	2	64	

平均年齢	88歳10月	最高年齢	101歳 2月	最少年齢	69歳2月
男	83歳11月	男	96歳11月	男	72歳5月
女	90歳 1月	女	101歳 2月	女	69歳2月

（イ）在園期間　　（単位：人）

在園期間／性別	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	6年未満	7年未満	8年未満	9年未満	10年未満	11年未満	12年未満	16年未満	17年未満	合計
男	3	4	3	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	16
女	4	11	18	8	5	2	2	5	1	2	1	3	1	1	64
計	7	15	21	12	5	2	3	6	1	2	1	3	1	1	80

（ウ）　日常生活能力　　（単位：人）

区分	歩行				食事			入浴			着衣			排泄					
														昼間			夜間		
														便所		おむつ使用	便所		おむつ使用
	自力歩行	杖等の歩行補助器使用	車いす使用	歩行介助	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	介助		自分で可能	介助	
人数	2	5	73	0	41	14	25	0	15	65	4	11	65	12	33	35	9	19	52

（エ）疾病の状況　　（単位：人）

病名	人員	病名	人員
脳卒中後遺症	44	糖尿病	1
アルツハイマー型認知症	12	甲状腺機能低下症	0
関節リウマチ	10	精神遅滞	1
パーキンソン病	4	脊髄損傷	1
肺疾患	2	脊柱管狭窄症	2
老人性認知症	5		

（カ）死亡者の死因　　（単位：人）

区分＼疾病名	老衰	肺炎	脳梗塞	計
施設	3	0	1	4
病院	0	1	0	1
計	3	1	1	5

13　評議員会及び監査等

（１）支部評議員会

評議員会を次のとおり開催し、いずれの議案も原案どおり承認された。

・第１回支部評議員会［新型コロナウイルス感染症の感染拡大により文書審議で開催］

第１号議案　令和元年度主要事業の実施状況報告及び令和元年度歳入歳出決算について

・第２回支部評議員会［２月４日（木）於：マリンパレスかごしま］

第１号議案　令和３年度事業計画（案）及び令和３年度歳入歳出予算（案）について

第２号議案　監査委員の選出について

（２）業務監査

令和２年度支部業務及び会計歳入歳出決算の支部監査委員による監査は、６月２日（火）に、監査委員３名により各施設の監査が実施され、適正であるとの講評を得た。

○日本赤十字社鹿児島県支部一般会計

○鹿児島赤十字病院医療施設特別会計

○特別養護老人ホーム錦江園社会福祉施設特別会計

（３）地区・分区関係各種会議等

ア　地区・分区支所等事務長及び担当者研修会

・４月２３日（木）に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

イ　社業振興幹事会

・１０月１６日（金）

場　　所　　鹿児島県赤十字会館

出　　席　　２４人（幹事）

議　　題　　鹿児島県支部における社資募集の現状について

鹿児島県支部における社資募集の課題と今後の取り組みについて

赤十字大会等について

ウ　副地区長及び担当者会議（郡地区）

・１月２２日（金）

場　　所　　鹿児島県赤十字会館

出　　席　　１２人

議　　題　　令和２年度主要事業実施状況概要について

令和３年度事業計画について

令和２年度会員数・社資額の状況について

令和３年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について
地区説明会について
令和３年全国赤十字大会について
令和３年度九州八県赤十字大会について

エ　市地区事務長会議

・２月２６日（金）

場　　所　　鹿児島県赤十字会館
出　　席　　１９人（市地区）
議　　題　　令和２年度主要事業実施状況概要について
令和３年度事業計画について
令和２年度会員数・社資額の状況について
令和３年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について
令和３年全国赤十字大会について
令和３年度九州八県赤十字大会について

オ　郡地区説明会

・２月１５日（月）～２５日（木）（６地区４会場で開催）

出　　席　　４０人（郡地区・地区・分区担当者等）
議　　題　　令和２年度主要事業実施状況概要について
令和２年度会員数・社資額の状況について
令和３年度事業計画について
令和３年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について
令和３年全国赤十字大会について
令和３年度九州八県赤十字大会について

14　決　算　状　況

（１）令和２年度一般会計歳入歳出決算書

日本赤十字社鹿児島県支部

歳入						歳出					
科　目	予算現額 (A)	決 算 額 (B)	予算現額に比し増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比	科　目	予算現額 (C)	決 算 額 (D)	不 用 額 (C-D)	執行率 (D/C)	全体比
	円	円	円	%	%		円	円	円	%	%
支部収入	422,929,000	428,434,822	5,505,822	101.3	100.0	支部費	422,929,000	369,067,761	53,861,239	87.3	100.0
社資収入	245,000,000	245,737,081	737,081	100.3	57.4	災害救護事業費	164,165,000	159,221,851	4,943,149	97.0	43.3
委託金等収入	0	706,256	706,256	-	0.2	社会活動費	38,435,000	20,813,331	17,621,669	54.2	5.6
補助金及び交付金収入	53,215,000	47,137,541	△ 6,077,459	88.6	11.0	国際活動費	59,000	0	59,000	0.0	0.0
災害義援金預り金収入	85,358,000	85,357,463	△ 537	100.0	19.9	指定事業地方振興費	900,000	900,000	0	100.0	0.2
繰入金収入	5,000,000	456,903	△ 4,543,097	9.1	0.1	地区分区交付金支出	40,450,000	38,153,850	2,296,150	94.3	10.3
貸付金償還金収入	5,000,000	5,000,000	0	100.0	1.2	社業振興費	37,705,000	22,038,384	15,666,616	58.4	6.0
雑収入	2,707,000	1,911,963	△ 795,037	70.6	0.4	基盤整備交付金・補助金支出	1,285,000	1,284,015	985	99.9	0.3
前年度繰越金	26,649,000	42,127,615	15,478,615	158.1	9.8	積立金支出	36,996,000	36,651,024	344,976	99.1	9.9
						総務管理費	58,687,000	50,593,363	8,093,637	86.2	13.7
						資産取得及び資産管理費	5,327,000	2,956,381	2,370,619	55.5	0.8
						本社送納金	36,845,000	36,455,562	389,438	98.9	9.9
						予備費	2,075,000	0	2,075,000	0.0	0.0
合　　計	422,929,000	428,434,822	5,505,822	101.3	100.0	合　　計	422,929,000	369,067,761	53,861,239	87.3	100.0

歳 入 歳 出 差 引 額　　59,367,061 円

(2)　令和２年度医療施設特別会計歳入歳出決算書

鹿児島赤十字病院

〔収益的収入〕

科　　目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比
	円	円	円	%	%
1 医業収益	3,865,199,000	3,230,029,129	△ 635,169,871	83.6	77.1
2 医業外収益	44,878,000	898,192,738	853,314,738	2,001.4	21.4
3 医療社会事業収益	69,391,000	58,700,680	△ 10,690,320	84.6	1.4
5 特別利益	0	1,638,361	1,638,361	0.0	0.1
収益的収入 合計	3,979,468,000	4,188,560,908	209,092,908	105.3	100.0

〔収益的支出〕

科　　目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C-D)	執行率 (D/C)	全体比
	円	円	円	%	%
1 医業費用	3,983,256,000	3,430,904,074	552,351,926	86.1	98.2
2 医業外費用	18,001,000	17,961,211	39,789	99.8	0.5
3 医療奉仕費用	69,391,000	43,530,133	25,860,867	62.7	1.3
5 特別損失	3,000,000	437,048	2,562,952	14.6	0.0
6 法人税等	1,476,000	113,443	1,362,557	7.7	0.0
7 予備費	0	0	0	0.0	0.0
収益的支出 合計	4,075,124,000	3,492,945,909	582,178,091	85.7	100.0

収益的収入支出差引額　695,614,999 円

〔資本的収入〕

科　　目	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	予算現額に比し増減 (A)-(B)-(C)
	円	円	円	円
1 固定負債	73,091,000	73,012,200		78,800
3 その他資本収入	119,910,000	119,839,143		70,857
資本的収入 合計	193,001,000	192,851,343	0	149,657

〔資本的支出〕

科　　目	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
	円	円	円	円
1 固定資産	79,491,000	79,448,948		42,052
2 借入金等償還	113,510,000	113,402,395		107,605
資本的支出 合計	193,001,000	192,851,343	0	149,657

資本的収入支出差引額　0 円

（３）令和２年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

1　事業活動による収入及び支出

科目		予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し増減 (B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比
		円	円	円	%	%
1 施設収入						
	1　介護保険事業収入	399,451,000	413,061,776	13,610,776	103.4	99.6
	10 経常経費寄付金収入	0	875,144	875,144	0.0	0.2
	11 受取利息配当金収入	0	3	3	0.0	0.0
	12 その他の収入	255,000	612,429	357,429	240.2	0.1
事業活動収入計		399,706,000	414,549,352	14,843,352		100.0

科目		予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C)-(D)	執行率 (D/C)	全体比
		円	円	円	%	%
1 施設費						
	1　人件費支出	293,304,000	288,996,742	4,307,258	98.5	80.4
	2　事業費支出	49,727,000	48,504,733	1,222,267	97.5	13.5
	3　事務費支出	21,089,000	20,055,956	1,033,044	95.1	5.6
	6　利用者負担軽減額	809,000	761,581	47,419	94.1	0.2
	7　支払利息支出	1,092,000	1,053,699	38,301	96.5	0.3
	8　その他の支出	123,000	2,640	120,360	2.1	0.0
事業活動支出計		366,144,000	359,375,351	6,768,649	98.2	100.0

事業活動資金収支差額　55,174,001　円

2　施設整備等による収入及び支出

科目		予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し増減 (B)-(A)+(C)
		円	円	円	円
	14　施設整備等補助金収入	0	0	0	0
	16　設備資金借入金収入	0	0	0	0
施設整備等収入計		0	0	0	0

科目		予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
		円	円	円	円
	10 設備資金借入金元金補償支出	14,808,000	14,808,000	0	0
	11　固定資産取得支出	1,512,025	1,512,025	0	0
	12　固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0
	13 ファイナンス・リース債務の返済支出	2,342,000	2,341,883	0	117
施設整備等支出計		18,662,025	18,661,908	0	117

施設整備等資金収支差額　△ 18,661,908　円

3　その他の活動による収入及び支出

科目		予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し増減 (B)-(A)+(C)
		円	円	円	円
	24　他会計長期借入金収入	0	0	0	0
	28　他会計繰入金収入	0	3,801,085	0	3,801,085
	31　その他の活動による収入	8,495,000	8,560,069	0	65,069
財務活動収入計		8,495,000	12,361,154	0	3,866,154

科目		予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
		円	円	円	円
	21　他会計長期借入金返済支出	5,000,000	5,000,000	0	0
	26　その他活動による支出	9,290,000	9,287,196	0	2,804
財務活動支出計		14,290,000	14,287,196	0	2,804

その他の活動資金収支差額　△ 1,926,042　円

4　当期末支払資金残高

	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し増減 (B)-(A)
	円	円	円
事業活動資金収支差額	33,562,000	55,174,001	21,612,001
施設整備等資金収支差額	△ 18,662,025	△ 18,661,908	117
その他の活動資金収支差額	△ 5,795,000	△ 1,926,042	3,868,958
予備費	5,000,000		
当期資金収支差額合計	4,104,975	34,586,051	30,481,076

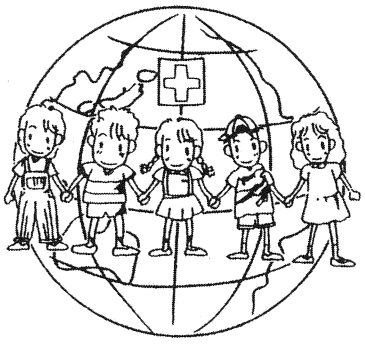
前期末支払資金残高	87,134,000	104,950,518	17,816,518
当期末支払資金残高	91,238,975	139,536,569	48,297,594

5　収入支出の合計

	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し増減 (B)-(A)+(C)
	円	円	円	円
収　入　合　計	495,335,000	531,861,024	0	36,526,024

	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
	円	円	円	円
支　出　合　計	403,441,000	392,324,455	0	11,116,545

収入支出差引額　139,536,569　円

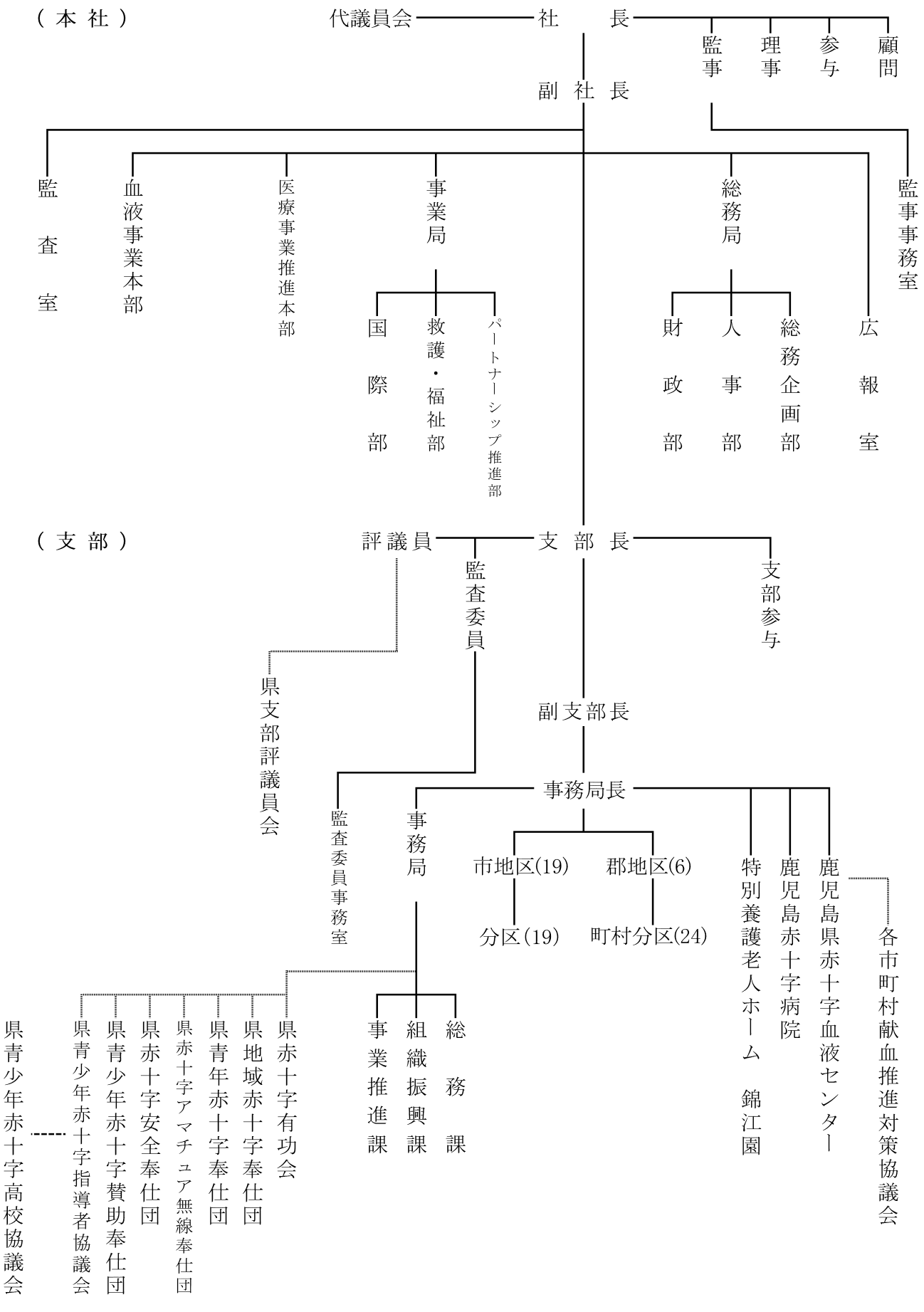


参考資料

本社及び支部組織図等

組　織　図

令和3年4月1日　現在



日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿

主 要 役 員 名

令和３年４月１日現在

役　職　名	氏　　名	現　　職	任　　期
支　部　長	塩　田　康　一	県　知　事	R2. 7.28 ～ R5. 7.27
副　支　部　長	須　藤　明　裕	県　副　知　事	R3. 4. 1 ～ R6. 3.31
〃	谷　口　浩　一	県くらし保健福祉部長	R3. 4. 1 ～ R6. 3.31
本　社　理　事	岩　元　恭　一	㈱山形屋　社主	H31. 4. 1 ～ R4. 3.31
支部選出本社代議員	岩　元　恭　一	㈱山形屋　社主	H31. 2.14 ～ R4. 2.13
〃	田　畑　誠　一	いちき串木野市長	〃
〃	今別府　哲矢	前　薩摩川内市社会福祉協議会　会長	〃
〃	川　畑　俊　彦	南生建設㈱名誉会長	〃
〃	伊　佐　幸　子	赤十字奉仕団県支部委員会委員長	〃
支部監査委員	上川路　長生	公認会計士・税理士	H30. 7. 1 ～ R3. 6.30
〃	大　柳　俊　一	県町村会事務局長	R3. 4. 1 ～ R6. 3.31
〃	西井上　誠	県社会福祉協議会常務理事兼事務局長	R3. 2. 9 ～ R6. 2. 8

支　部　参　与

氏　　名	公　職　名	就任年月日
東　條　広　光	県　教　育　長	平成30年4月1日
伊　地　知　芳　浩	県くらし保健福祉部次長	令和3年4月1日
松　田　典　久	前支部事務局長	令和2年4月1日

日本赤十字社鹿児島県支部　評議員　名簿

■評 議 員

任期(平成３１年２月１４日～令和４年２月１３日)　　令和３年４月１日現在

地区名	氏名	職業
鹿児島市地区	下鶴隆央	鹿児島市長
〃	上之園彰	鹿児島市社会事業協会 理事長
〃	中間隆志	日赤鹿児島市地区協賛委員会 会長
〃	米倉賢蔵	日赤鹿児島市地区協賛委員会副会長
〃	濵田賢三	日赤鹿児島市地区協賛委員会副会長
〃	赤星貴子	鹿児島中央赤十字奉仕団 委員長
〃	丸田智恵子	鹿児島市谷山赤十字奉仕団 委員長
鹿屋市地区	中西茂	鹿屋市長
〃	宮下昭廣	鹿屋市社会福祉協議会 会長
枕崎市地区	前田祝成	枕崎市長
阿久根市地区	西平良将	阿久根市長
出水市地区	椎木伸一	出水市長
指宿市地区	豊留悦男	指宿市長
西之表市地区	八板俊輔	西之表市長
垂水市地区	尾脇雅弥	垂水市長
薩摩川内市地区	田中良二	薩摩川内市長
〃	上屋和夫	薩摩川内市社会福祉協議会 会長
日置市地区	宮路高光	日置市長
曽於市地区	五位塚剛	曽於市長

地区名等		氏名	職業
霧島市地区		中重真一	霧島市長
〃		福永洸	霧島市社会福祉協議会会長
いちき串木野市地区		田畑誠一	いちき串木野市長
南さつま市地区		本坊輝雄	南さつま市長
志布志市地区		下平晴行	志布志市長
奄美市地区		朝山毅	奄美市長
南九州市地区		塗木弘幸	南九州市長
伊佐市地区		橋本欣也	伊佐市長
姶良市地区		湯元敏浩	姶良市長
郡地区	鹿児島・姶良・北薩	川添健	長島町長
	大隅	森田俊彦	南大隅町長
	熊毛	小園裕康	南種子町長
	大島	伊集院幼	大和村長
支部長選出		岩元恭一	(株)山形屋 社主
〃		池田琢哉	県医師会 会長
〃		松前邦昭	県赤十字有功会 会長
〃		川畑俊彦	南生建設(株) 名誉会長
〃		佐潟隆一	(株)南日本新聞社 社長
〃		中野寿康	(株)南日本放送 社長
〃		伊佐幸子	赤十字奉仕団県支部委員会 委員長
〃		中村浩一	県青少年赤十字指導者協議会会長

評議員　　計　　４０名

日 本 赤 十 字 社 現 勢

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社スローガン　人間を救うのは、人間だ。

赤十字の基本原則　人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

1949年のジュネーブ四条約締約国　196カ国

世界の赤十字社・赤新月社等　192社

1. 沿　革

明治10年(1877)	5月 1日	博愛社設立
明治20年(1887)	5月20日	日本赤十字社に改称
昭和27年(1952)	8月14日	日本赤十字社法制定

2. 名誉総裁・名誉副総裁

名　誉　総　裁　皇　后　陛　下
名　誉　副　総　裁　秋篠宮皇嗣妃殿下
常陸宮殿下・同妃殿下
三笠宮妃殿下　寛仁親王妃信子殿下
高円宮妃殿下

3. 会　員（令和2年3月31日現在）

個人	15.6万人
法人	8.2万法人

4. 評 議 員　2,007人

5. 代 議 員　223人

6. 役　員

社　長　大塚　義治（常勤）
副 社 長　富田　博樹（常勤）　中西　宏明（非常勤）
理　事　61人（常勤1人、非常勤60人）
監　事　3人（常勤1人、非常勤2人）

7. 青少年赤十字（令和2年3月31日現在）

幼稚園・保育所	1,741校	150,191人
小学校	7,184校	2,008,587人
中学校	3,622校	1,002,699人
高等学校	1,932校	330,291人
特別支援学校	201校	20,093人
計	14,680校	3,511,861人
指導者	241,534人	

8. 赤十字ボランティア（令和2年3月31日現在）

地域赤十字奉仕団	2,124団	1,150,227人
青年赤十字奉仕団	157団	6,327人
特殊赤十字奉仕団	634団	31,947人
個人ボランティア	-	3,719人
計	2,915団	1,192,220人

9. 救急法等の講習

	資格登録者数（令和2年3月31日現在）		受講者数
	指導者	救急員等	（令和元年度）
救急法基礎講習	11,156人	213,656人	41,512人
救急法	7,024人	126,022人	445,108人
水上安全法	1,540人	10,148人	67,408人
雪上安全法	233人	1,001人	367人
幼児安全法	2,359人	19,339人	75,104人
健康生活支援講習	1,750人	13,644人	76,875人
計	24,062人	383,810人	706,374人

10. 看護師等の教育

施設数	
大学（大学院併設）	6
短期大学	1
看護専門学校	14
助産師学校	1
幹部看護師研修センター	1
計	23

一学年養成定員		
看護師	20校	1,315人
助産師	6校	88人
保健師	6校	149人
幹部看護師	1校	120人
介護福祉士	1校	30人

11. 国 際 活 動

国際救援・開発要員派遣（令和元年度）	12カ国	のべ46人
国際赤十字・赤新月社連盟出向	2人(スイス、マレーシア)	
国際活動費（令和元年度）		23億円

12. 国内災害救護

救護員数	6,523人(常備救護班要員を含む)	
常備救護班	486班	4,328人
無線局	（令和2年3月31日現在）	3,226局
救護車両		1,857台
赤十字飛行隊(特殊奉仕団)		100機
災害における救護員出動数（令和元年度）	11件	1,684人
取扱義援金額（令和2年3月31日現在）		
1.令和元年度受付義援金（東日本大震災を除く）		121億1,678万6,320円
2.東日本大震災における令和元年度受付義援金		8億3,985万2,794円
配分救援物資(毛布・安眠セット・緊急セット)		47,750個

13. 医 療 事 業

施設数			
病院	91	診療所	5
		老人保健施設	6
		介護医療院	1
病床総数	35,651床（令和2年3月31日現在）		

総患者数（令和元年度）		1日平均
入院	1,071万人	2.9万人
外来	1,668万人	6.8万人

14. 血 液 事 業

施設数			
地域血液センター	47	ブロック血液センター	7
附属施設（献血ルーム118を含む）	172	（分置施設	5）

献血者数（令和元年度）		供給本数（令和元年度）	
成分献血	153万人	輸血用製剤	1,748万本
400mL献血	326万人	車両台数(令和2年3月31日現在)	
200mL献血	14万人	献血運搬車	774台
計	493万人	移動採血車	289台

15. 社会福祉事業

児童福祉施設数（定員）			
乳児院	8（291）	医療型障害児入所施設	3（286）
保育所	3（358）		
児童養護施設	1（40）		
老人福祉施設数（定員）			
特別養護老人ホーム（併設ケアハウス20人を含む）	8(773)		
障害者福祉施設数（定員）		複合型施設	1（定員）
障害者支援施設	1(50)	特別養護老人ホーム	(110)
視聴覚障害者情報提供施設	2	介護老人保健施設	(100)
補装具製作施設	1	高齢者グループホーム	(18)
		障害者支援施設	(10)

16. 職員数（施設数）

	職員数
本社（1）	546人
支部（47）	721人
医療事業（118）	59,364人
血液事業（231）	5,894人
社会福祉事業（28）	1,154人
計	67,679人

17. 会　計（令和2年度当初予算）

一般会計	本社	113億3千万円
	支部	186億5千万円
医療施設特別会計		1兆1,311億6千万円
血液事業特別会計		1,607億1千万円
社会福祉施設特別会計		153億7千万円

（特に断りのない統計数字等は、令和2年4月1日現在）

支部の現勢

令和3年4月1日 現在

役　員

支部長	塩田康一	
副支部長	須藤明裕	
	谷口浩一	
本社理事	岩元恭一	
本社代議員		5 人
監査委員		3 人
評議員		40 人

赤十字奉仕団委員長及び団員数

赤十字奉仕団県支部委員会委員長 伊佐幸子

・地域赤十字奉仕団(60団)

団員数 14,651 人

・赤十字安全奉仕団委員長 岩屋幹夫

団員数 146 人

・青年赤十字奉仕団委員長 堀段怜奈

団員数 13 人

・赤十字アマチュア無線奉仕団委員長 松木孝生

団員数 324 人

・赤十字看護奉仕団委員長 （休止中）

団員数 0 人

・青少年赤十字賛助奉仕団委員長 野村大綱

団員数 40 人

赤十字有功会

会長 松前邦昭　会員数 308 人(社)

青少年赤十字指導者協議会

会長 中村浩一

青少年赤十字加盟校・園

学校・保育園幼稚園	512 校園
青少年赤十字メンバー	89,643 人

会　員

個人会員	293,069 人
法人会員	1,118 社
合計	294,187 人(社)

講習指導員

救急法指導員	109 人
水上安全法指導員	41 人
幼児安全法指導員	34 人
健康生活支援講習指導員	25 人

医療事業

病院	1 病院
診療科目	9 科
内科・リウマチ科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科	
救急車等の配置	
救急車	1 台
災害救援車	1 台
一般病床	120 床
医師	46 人
医療技師	39 人
看護師	111 人

血液事業

血液センター・献血ルーム天文館・鹿屋出張所・川内出張所

移動採血車	5 台
検診車	4 台
献血運搬車（出張所を含む）	20 台
医師	7 人
医療技師	5 人
看護師	35 人

社会福祉事業

特別養護老人ホーム

入所定員数	80 人
短期入所生活介護(ショートステイ)	2 床
介護職員・看護師	55 人

救護・援護事業

常備救護班	8 班
常備要員	48 人
無線基地局・移動局	86 局
救急車	1 台
災害救援車(地区分区配備含む)	67 台
エアーテント	1 基
フレーム式拡張テント	3 張
テント(地区分区配備含む)	151 張
災害物資保管庫等	73 カ所
炊き出し用釜セット	73 カ所

○ 支 部 の 沿 革

明治　10(1877)年5月	博愛社創立
明治 20(1887)年 11 月	日本赤十字社鹿児島地方委員会発足
25(1892)年　9月	日本赤十字社鹿児島委員部を県庁内に設置
29(1896)年　7月	日本赤十字社鹿児島支部と改称
大正 12(1923)年 12 月	鹿児島郡中郡宇村郡元開院中の海濱院買収
昭和 12(1937)年 11 月	鹿児島市樋之口町に診療所開設
14(1939)年　5月	谷山町平川2545番地に病院移転、錦江療院と改称
20(1945)年　7月	戦災により支部社屋焼失
20(1945)年　9月	鹿児島市武町日本瓦斯ビル内に支部移転
23(1948)年　5月	鹿児島市郡元町に支部仮庁舎建設、瓦斯ビルより移転
24(1949)年　8月	鹿児島市郡元町支部構内に鹿児島診療所開設
26(1951)年　1月	同構内に支部新庁舎完成
27(1952)年　6月	錦江療院錫山出張診療所開設
27(1952)年　8月	日本赤十字社法制定、日本赤十字社鹿児島県支部と改称
33(1958)年　4月	錦江療院を錦江赤十字病院と改称、鹿児島診療所を病院附属とする。
40(1965)年　1月	鹿児島市下荒田町化学血清療法研究所鹿児島血液銀行内に鹿児島県赤十字血液センターを開設
42(1967)年　1月	支部構内に血液センター新社屋完成移転
43(1968)年　4月	錦江赤十字病院を鹿児島赤十字病院と改称、附属鹿児島診療所を支部郡元診療所と改称
45(1970)年　6月	県立大島病院内に血液センター名瀬出張所を開設、県立鹿屋病院内に血液センター鹿屋出張所を開設
49(1974)年　4月	支部郡元診療所閉鎖
49(1974)年　6月	特別養護老人ホーム錦江園を平川町赤十字病院敷地内に開設(定員50名)
50(1975)年 12 月	血液成分製剤の製造開始
52(1977)年 11 月	鹿児島市鴨池新町1番5号地に鹿児島県赤十字会館完成 支部事務局、血液センター移転
53(1978)年　3月	鹿児島赤十字病院火の河原出張診療所開設
53(1978)年　5月	鹿児島赤十字病院一般25室95床、結核17室75床に使用許可
55(1980)年　8月	血液センター鹿屋出張所閉鎖
55(1980)年　9月	血液センター名瀬出張所閉鎖
55(1980)年 12 月	ベトナム難民援護施設「赤十字垂水園」を垂水市に設置
56(1981)年　4月	鹿児島赤十字病院鹿児島広域市町村圏へき地中核病院に指定
56(1981)年　4月	血液センター献血者全員に検査サービス結果通知開始
56(1981)年　9月	鹿児島赤十字病院一般24室95床、結核15室75床に変更許可
57(1982)年　2月	血液センター供給室及び製剤室増改築完了
57(1982)年　3月	鹿児島赤十字病院一般病棟改築工事落成(鉄筋コンクリート、一部木造811㎡)
57(1982)年　4月	血液センター献血手帳の供給欄削除
57(1982)年　8月	鹿児島赤十字病院一般26室95床、結核15室75床に変更許可
58(1983)年　5月	赤十字看護婦像建立(日本赤十字社看護婦同方会鹿児島県支部)
58(1983)年　7月	鹿児島赤十字病院に新たに理学診療科、放射線科の2科を増設
59(1984)年　3月	血液センター車庫及び倉庫増築完了

60(1985)年　3月　錦江園研修宿泊施設及び15床、増築工事完成(定員70名に変更)
60(1985)年　8月　鹿児島赤十字病院一般29室120床、結核10室50床に変更許可
61(1986)年　2月　血液センター天文館出張所「献血ルーム・天文館」開設
61(1986)年　4月　血液センター400mL献血及び成分献血開始
61(1986)年　9月　血液センター採血室、検査室増築工事完成
62(1987)年　4月　特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床設置)
平成 元(1989)年　2月　鹿児島赤十字病院リウマチ検診車購入
元(1989)年　3月　ベトナム難民救護施設「赤十字垂水園」を閉鎖
元(1989)年　6月　血液センター業務をシステム化
2(1990)年　7月　鹿児島赤十字病院に新たに整形外科を増設
2(1990)年11月　鹿児島赤十字病院増改築工事完成
3(1991)年　4月　血液センター血液凝固因子製剤製造用原料血漿の送付開始
4(1992)年10月　鹿児島赤十字病院骨粗しょう検診車購入
4(1992)年10月　鹿児島県支部創設百周年記念大会開催
5(1993)年　3月　『日赤鹿児島百年史』刊行
6(1994)年　4月　鹿児島県支部事務局組織改正
7(1995)年　1月　阪神・淡路大震災へ救護班2個班出動
8(1996)年　5月　鹿児島赤十字病院エイズ治療協力病院指定
8(1996)年10月　鹿児島赤十字病院に新たにリウマチ科増設、理学診療科をリハビリテーション科に変更
9(1997)年　3月　鹿児島赤十字病院、災害拠点病院(地域災害医療センター)指定
10(1998)年　2月　血液センター増改築工事(放射線照射室　他)
10(1998)年　6月　鹿児島赤十字病院検診棟完成
11(1999)年　5月　鹿児島赤十字病院に鹿児島県へき地遠隔医療システム導入
11(1999)年　7月　鹿児島県赤十字会館増改築工事着工
12(2000)年　3月　鹿児島赤十字病院、居宅介護支援事業所指定
12(2000)年　4月　特別養護老人ホーム錦江園介護老人福祉施設および居宅サービス(短期入所生活介護)事業所指定(事業所番号4670101114)
12(2000)年　8月　鹿児島県赤十字会館増改築工事竣工
14(2002)年　6月　特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床増床)
14(2002)年　7月　赤十字病院「へき地医療拠点病院」指定(へき地中核病院の再編成)
15(2003)年　1月　鹿児島赤十字病院増改築工事(リハビリ棟　他)
15(2003)年　7月　鹿児島赤十字病院に新たに脳神経外科を増設、休止中の外科を廃止
15(2003)年11月　鹿児島赤十字病院「保健文化賞」受賞(リウマチ膠原病・骨粗しょう症検診及び離島へき地診療による地域医療の貢献)
16(2004)年　3月　血液センターに新鮮凍結血漿の貯留保管のため供給課にプレハブフリーザー室を増設
16(2004)年　4月　鹿児島赤十字病院に新たに麻酔科を増設
16(2004)年　4月　鹿児島赤十字病院、結核病棟(休床)
16(2004)年　7月　鹿児島赤十字病院　「地域医療連携室」設置
17(2005)年　3月　鹿児島赤十字病院　「救急病院」認定
17(2005)年　4月　鹿児島赤十字病院　「特定診療科(眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科)巡回診療」県から移管
18(2006)年　3月　血液センター改修工事(1階採血施設に献血者問診室を設置)

18(2006)年　7月　血液センター「献血ルーム天文館」全面改修リニューアルオープン
18(2006)年10月　血液センター「献血者健康被害救済制度」開始
18(2006)年10月　血液センター　献血手帳を磁気型「献血カード」に変更
18(2006)年11月　鹿児島赤十字病院　MRI室増築　稼動開始
19(2007)年　1月　血液センター　全ての血液製剤について保存前白血球除去開始
(一部製剤は先行実施)
19(2007)年　2月　血液センター　採血時初流血液除去を開始
19(2007)年　3月　鹿児島赤十字病院　医療安全推進室を設置
19(2007)年　4月　鹿児島赤十字病院　言語聴覚療法を開始
19(2007)年11月　鹿児島赤十字病院　放射線撮影室増築工事、中央病棟増築工事完成
一般撮影装置増設、DEXA装置更新
19(2007)年11月　血液センター　九州ブロックにおける検査・製剤集約施設として「日本赤十字社九州血液センター」竣工
20(2008)年　1月　血液センター　検査業務を九州血液センターに集約
20(2008)年　3月　鹿児島赤十字病院　一般病棟入院基本料「7対1入院基本料」承認
20(2008)年　3月　血液センター　医薬品製造業を廃止し、製剤業務を九州血液センターに集約(製剤業務の集約4/1付)
20(2008)年　4月　血液センター　かもいけの血液センターを改修に併せ「献血プラザかもいけクロス」と名称変更し、リニューアルオープン
特別養護老人ホーム錦江園　介護老人福祉施設および居宅サービス(短期入所生活介護)事業所指定更新
20(2008)年　6月　鹿児島赤十字病院　病院機能評価認定病院(審査体制区分2:ver.5)認定
21(2009)年　3月　血液センター　生化学検査サービス項目のAST(GOT)検査に変え、GA(グリコアルブミン:糖尿病関連)検査導入
21(2009)年　3月　鹿児島赤十字病院　国道拡幅工事に伴う改修工事(リハビリ棟・重油タンク)
21(2009)年　4月　鹿児島赤十字病院　鹿児島県から災害派遣医療チーム(DMAT)指定病院として指定
血液センター　献血プラザかもいけクロス採血室の漏電による火災のため一時閉所
21(2009)年　7月　血液センター　献血プラザかもいけクロスリニューアルオープン
21(2009)年10月　鹿児島赤十字病院　消防・防災ヘリコプター医師搭乗システム協力病院
22(2010)年　3月　鹿児島赤十字病院　鹿児島県から看護学生研修実習生控室(建物)の無償譲渡
鹿児島赤十字病院　錫山・火の河原出張診療所廃止
22(2010)年　7月　鹿児島赤十字病院　DPC対象病院として稼働開始
22(2010)年11月　血液センター　「ホリスティックヘルスプラザかごしま」オープン
22(2010)年12月　鹿児島赤十字病院　電子カルテ・オーダリングシステムの導入・稼働開始
23(2011)年3月　東日本大震災(発災から同年8月までの間)、救護班5個班のほか、こころのケア要員、病院・施設支援要員、ボランティア等を派遣
23(2011)年8月　血液センター　鹿屋地区血液備蓄所(鹿屋富田薬品)及び曽於地区血液備蓄所(曽於郡医師会立病院)閉鎖
23(2011)年9月　血液センター　鹿屋出張所開設
23(2011)年11月　血液センター　川内地区血液備蓄所(アステム川内支店)閉鎖

23(2011)年12月	血液センター　川内出張所開設
24(2012)年３月	鹿児島赤十字病院　平成16年4月より休棟中の結核病床廃止(一般病床120床となる)
24(2012)年４月	血液事業の広域運営体制開始 広域事業運営体制による血液センター組織改正
24(2012)年８月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念絵画・作文コンクール実施
24(2012)年12月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念改築工事(災害対策本部機能等改修工事)
25(2013)年１月	「～献血ありがとう～いのちをつなぐ友の会」発足
〃	立体駐車場(3階4層:公用車含142台収容)完成
26(2014)年１月	鹿児島城山ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける
〃	特別養護老人ホーム錦江園改築工事竣工(鉄筋コンクリート5階建て全ユニット型)
26(2014)年２月	宮崎県串間市への血液供給を開始(県境を越えた供給)
26(2014)年３月	鹿児島赤十字病院新東棟竣工
26(2014)年５月	血液事業情報システム供給部門導入
〃	血液事業情報システム本稼働
26(2014)年６月	鹿児島・串木野・奄美の各海上保安部と「海上災害等における相互協力に関する協定」を５０年振りに再締結
26(2014)年11月	鹿児島赤十字病院本館改修工事竣工
27(2015)年１月	鹿児島赤十字病院増改築工事落成祝賀会並びに設立90周年記念祝賀会挙行
27(2015)年２月	鹿児島県赤十字血液センター創立５０周年記念式典挙行
27(2015)年３月	一般社団法人 日本血液製剤機構(JBPO)と日本赤十字社間の血漿分画製剤の販売提携終了
27(2015)年５月	屋久島町口永良部島新岳噴火災害へ救護班1個班、こころのケア要員等を派遣
27(2015)年８月	鹿児島赤十字病院永井慎昌医師「第67回保健文化賞」受賞
27(2015)年８月	米盛庄司代議員より、支部事務局へ机、イス寄贈
27(2015)年12月	医療機関での赤血球製剤抗原検索システム開始
28(2016)年２月	「献血ルーム天文館」開設30周年記念キャンペーン開催
28(2016)年４月	血液事業本部　生化学検査のALT基準値変更と抗原陰性血の確認検査廃止
〃	熊本地震災害へ(発災から同年6月までの間)、医療救護班4個班及び災害対策本部支援要員等を派遣
28(2016)年７月	鹿児島県赤十字血液センターの固定施設の定休日を変更 (献血プラザかもいけクロス:木曜定休、献血ルーム天文館:金曜定休)
28(2016)年９月	血液事業本部　照射洗浄血小板－LR「日赤」販売開始
29(2017)年３月	鹿児島城西ロータリークラブ及び鹿児島サザンウインドロータリークラブより、血液センターへ献血運搬車の寄贈
〃	鹿児島県赤十字血液センターの加世田地区血液備蓄所(富田薬品南薩営業所)、大口地区血液備蓄所(山口長生堂薬局)及び出水地区血液備蓄所(出水総合医療センター)閉鎖
29(2017)年４月	特別養護老人ホーム錦江園10床増床(定員80名に変更)
29(2017)年７月	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念改築工事(救援物資保管倉庫改修)
29(2017)年９月	日本赤十字社創立140周年・日本赤十字社鹿児島県支部創立125周年記念表彰式及び講演会を開催
〃	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念赤十字ふれ愛親子防災教室を開催
〃	国分地区血液備蓄所(アトル国分支店)閉鎖
29(2017)年12月	指宿地区血液備蓄所(国立病院機構指宿医療センター)閉鎖

30(2018) 年 3 月	阿久根地区血液備蓄所(出水郡医師会立阿久根市民病院)、大島地区血液備蓄所(九州東邦大島営業所)閉鎖
31(2019) 年 3 月	種子島地区血液備蓄所(種子島医療センター)閉鎖
31(2019) 年 4 月	鹿児島城山ライオンズクラブ及び鹿児島明倫ライオンズクラブより、血液センターへ献血運搬車の寄贈
令和 元 (2019) 年 8 月	令和元年8月豪雨災害により佐賀県へ救護班1個班を派遣
2(2020) 年 7 月	令和2年7月豪雨災害により熊本県へ支部職員1名派遣
2(2020) 年 8 月	新型コロナウイルス感染症対応として鹿児島県広域医療調整本部及び宿泊療養施設等へ職員を派遣
3(2021) 年 3 月	沖電気工業株式会社より、血液センターへ献血運搬車の寄贈

赤 十 字 標 語 一 覧

1973年(昭48)	あなたとあなたの世界に赤十字
1974年(昭49)	いのちを守る赤十字！(救急法，水上安全法，家庭看護法の普及)
1975年(昭50)	赤十字：危急のときのいのち綱
1976年(昭51)	行動する赤十字
1977年(昭52)	人の和を世界に広げる赤十字
1978年(昭53)	参加しよう赤十字
1979年(昭54)	愛に手で世界を結ぶ赤十字
1980年(昭55)	赤十字：みんなのためにどこにでも
1981年(昭56)	あなたとともに赤十字
1982年(昭57)	あなたの身近に赤十字
1983年(昭58)	とっさの手当がいのちを守る！覚えよう救急法
1984年(昭59)	人道を通じて平和へ
1985年(昭60)	あなたの若さを－赤十字
1986年(昭61)	いのちを救う愛の献血－赤十字
1987年(昭62)	幼い生命に愛の手を－赤十字
1988年(昭63)	伝統を明日への力に－赤十字
1989年(平元)	愛の手を世界に広げる赤十字
1990年(平2)	守ろう！人のいのちと尊さを
1991年(平3)	救おう！災禍にあえぐ人々を
1992年(平4)	災害に備えて守る尊い生命－赤十字
1993年(平5)	すべての人々に人間の尊厳を
〃	
2000年(平12)	全ての人々に人間の尊厳を
2001年(平13)	人道は限りない力
〃	
2004年(平16)	守ろう人間の尊さを
〃	
2008年(平20)	人間を救うのは，人間だ。Together for humanity
〃	
2012年(平24)	人間を救うのは，人間だ。Our world. Your move.
〃	